

アセンションBOOK 6

天の川銀河の物語 NO 6

2014年2月

*Peace of Galactic Cluster*

天の川銀河の物語 6

星を生き育てる星座達



## 星を生き育てる星座達 目次

### ○第1章 神聖なる癒しの星座

へびつかい座

### ○第2章 星の新生を行う星座

へび座

### ○第3章 星の光を統合する星座

アンドロメダ座

### ○第4章 星を作り育てる星座

カシオペア座

### ○第5章 星に光と資源を送る星座

ペルセウス座

### ○第6章 星の資源を生みだす星座

ぎょしゃ座

作者 瀬戸武志&宇宙の光

アセンションブック

<https://www.k-suai.com/sp/index.html>

宇宙の光公式HP

<http://hikari1.com/sp/index.html>

アセンション評議会

<http://s-sun1.com/sp/index.html>

アメブロ光の世界へ

<http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI

[yume34@k-suai.com](mailto:yume34@k-suai.com)

イラスト えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ <http://ameblo.jp/angel-art2010/>

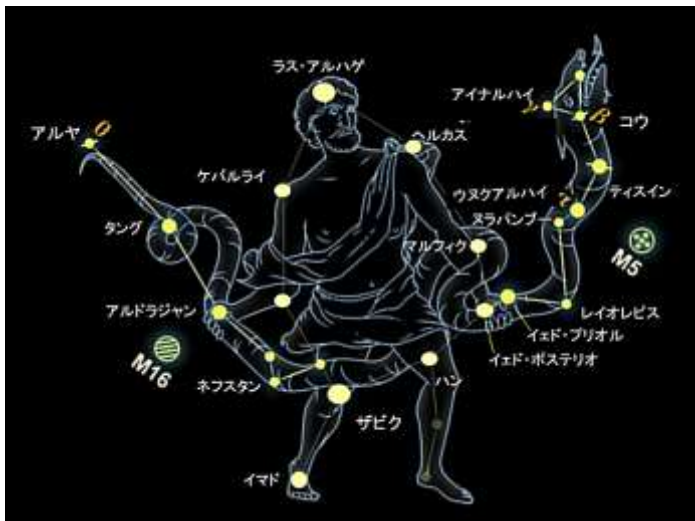
星座のイラストは下記からお借りしました。

88 星座図鑑 自然学習館

[http://www.study-style.com/index\\_seiza.html](http://www.study-style.com/index_seiza.html)

# 第1章 神聖なる癒しの星座

## へびつかい座



### PART1 神聖なる癒しの星ラス・アルハグ星

#### ○新しいマスター エアリア&ブラック・エンジェル

今日は星のツアーが始まる前に新しいマスター達のご紹介です。

メンバーにおろされたメッセージの中で、新しいマスターの名前が出てきていました。その名前をグレート・イエス様に確認すると、私達の活動をサポートするために待機しているマスターである事を教えていただきましたので、私はお一人ずつお名前を呼び、私達のもとに現れていただきました。

まずとても大きな存在感をもつ女神エアリア様。

彼女は、グレート・ゴッデスの一人で、星の生態系を生みだし、循環させ守護する働きをします。

星のクリスタル・ドームの中にいる惑星意識

である女神の活動をサポートし、パワーアップさせます。

ホリー・ブラック・エンジェルは大天使サリエルや大天使サマエル達によって率いられる天使の一団で、大天使ミカエルと協力しながら、この宇宙の秩序を守ります。

ある星が、他の星によって侵略されたり、闇と光の領域が崩されてしまいそうになった時に活躍します。

彼等は、星やマスター達にとっては偉大な守護者です。

また、大天使サマエルは、私達が星のツアーを行う時も、私達と会った事もない宇宙人との仲立ちをしてくれる天使です。

私達が困らないように、宇宙人達の言葉を日本語に翻訳したり、私達が分かりやすいイメージで見せてくれたりもします。

## ○アスクレピオスの癒しの神殿と看護婦達

私達が最初に入った星は、このへびつかい座でも最も中心となるアスクレピオス様が活躍するラス・アルハゲ星です。

ここには、「白鳥の六芒星」の時に何度か来て、アスクレピオス様の癒しの神殿を尋ねています。

この癒しの神殿は、いくつかの部屋があり、最初の部屋は大きなプールがあり、ここで心と体を癒す事ができます。

またその奥には光輝く石が置いてあり、瞑想やリラックスする事でパワーを回復できる部屋もあります。

また緊急の治療室や星に根付いた闇の根を取り除いてもらった外科治療室などもある

ようです。

アスクレピオス様の要望で、この癒しの神殿をグレードアップする事にしました。

神殿はさらに大きくなり、癒しのプールに生命のしずくを落とすとともに、ネガティブなエネルギーを食べてくれる菌のようなマー君にそのプールをきれいにしてもらいます。また瞑想ルームには、私のハートの中にあるクリスタルの炎の種を取り出し、石をさらに活性化します。

さらにアスクレピオス様が癒しの天使のサポート部隊が欲しいという事なので、アスクレピオス様と大天使ハニエルと私で新しい種族を作る事にしました。

アスクレピオス様の医療に対する知識や病人を思いやる心、大天使ハニエルの癒しの力と女性的な気遣いの心などを併せ持った天使が、アスクレピオス様の仕事を手伝うために生まれてきました。

グレート・イエス様、グレート・マリア様達も喜んで、愛の光を新しい天使達に注いでいます。

この子達はアライエルと名付けられて、アスクレピオス様と共に活動する事になりました。

天使達を見てアスクレピオス様は大喜びです。

これからの毎日が素敵な天使達に囲まれて、きっと楽しくなるでしょうね。

喜んでいるアスクレピオス様を置いて、私達は、ラス・アルハゲ星のクリスタル・ドームに入ります。

ここの女神は少し疲れているようです。

私達の星のツアーが始まって、次々とけが人

や病人達が運び込まれるようになったために、だいが星のエネルギーが低下しているようです。

私達は、この星の女神にお礼を言って、クリスタルの炎の種をマザー・クリスタルに入れ光を呼び込みました。

クリスタル・ドームの女神も、新しい天使達の種族が生まれてこれで星も活気が出るわ！と喜んでくれています。

アスクレピオス様の星は、私達にはなくてはならない大切な星です。これで少しは恩返しができるようです。

## PART2 環境破壊の実験場とされた星

私達はへびつかい座の他の星も回る事にしました。

最初に行った星は、へびつかい座の左肩に当たるヘルカス星です。

それほど大きな星ではなく、一見緑も多くてよさそうですが、土地がとても荒れている場所が数か所あります。

星の女神を呼んで理由を聞くと、とても困った顔をして「星の外から、とてもネガティブなエネルギーが降ってきて、星が荒らされていくので困っている。」と伝えてきました。

その時メンバーの一人が、空からスライムのようなものが降ってきて、ヘルカス星の植物達を枯らして小さな生命達を死に追いやっているようなイメージを見ました。

どうやら、環境を破壊するような生物をこの星に降らす事によって、どのような事が起こるか、環境破壊の実験をしているようです。

私は、グレート・イエス様にこの事を報告して、この星を助けてあげてもよいと許可を得ました。

私は魔法使い達にお願いして、この星を光のマカバで囲い、反射鏡をつけさせる事で、他の星から意図的にこの星に、環境破壊の生物が降らされた時に、その反射鏡を使用して、その生物をもとの星に送り返すようにしました。

つまり、この星に送り込んだ生物が自分達の星に降るように仕組んだのです。

そうする事で、自分達の星が環境破壊にあい、どれだけ愚かな事をしているか気づく事ができればよいと思ったからです。

しかし女神からは、思いがけない言葉が出てきました。

「もし自分達の星で、環境破壊の実験ができなくなれば、他の星が実験場とされてしまいます。

それは他の星があまりにもかわいそうです。私達が我慢すれば済むならそうします。」

私はこの言葉に胸を打たれました。

他の星を気遣って、自分達が犠牲になろうという女神の献身的な心に胸が震えました。

しかしこのようなけなげな女神を犠牲にする事はできません。

もし異なる星がその実験場にされたら、私達がその星を救いに行きますと、私は女神に言いました。

そしてブラック・エンジェル達に、この件に関してしっかりと監視し、何かあればすぐ私に報告を行うようお願いしました。

私達は次にこのヘルカス星のクリスタル・ドームに入りました。

そこにはかわいいフェアリーのような小さな女神がいました。

私達は、クリスタル・ドームに光をもたらすと共に、エオリアやマー君達にお願いして、この星の破壊された自然を修復してくれるようにお願いしました。

そして私は、この女神に「この星には何か秘密がありませんか。」と尋ねました。

するとこの星の上の次元にたくさんの看護婦のような癒しの存在がいる事が分かりました。

もともと、この星はラス・アルハゲのアスクレピオス様のサポートを行う星だったのですが、何かの理由で次元が下がり、ラス・アルハゲ星とのつながりが切れてしまい、サポートを行う事ができなくなったようです。

私達はこの星を次元上昇させ、癒しの存在達をよびもどしました。

### PART3 高度な文明が存在したケバルライ星

私達は、次にケバルライ星へと向かいました。この星は、草花が少し生えてはいますが、全体として荒れ果てているような大地がどこまでも広がっているよう星です。

マスターを呼び出すと、元気のない沈んだ気持ちのマスターが1人現れ、この星の事について話してくれました。

もともとは自然が豊かで、たくさんの方が生活していたのですが、水や緑などの自然の生態系を支えるエネルギーが失われてしまい、水の循環が悪くなり、水が枯渇して干ばつ状態となっているようです。



周りの大地にはとても大きな穴があいている事から、隕石の落下も考えられます。

マスターはさらに、この隕石の落下により大気圏のバランスも破壊され、大気の状態も大きく変わったために、人が住む事ができなくなってしまった、と言いました。

さらに自然生態系の調節機能が失われ、星としての環境を保てなくなったために、多くの人がこの星からにげだしていった事も伝えてきました。

この星には、昔、高度な叡智を持つ存在が住んでいて、高い技術力を誇っていたようです。特に、彼等は自然エネルギーを利用して、新たなエネルギーや物質を作り出す事が得意だったようです。

しかし、その実験が失敗して自然界のエネルギーのバランスを壊し生態系を破壊してしまっただけです。

そしてそのときに、大きな隕石がこのケバルライ星を襲ったようです。

わたしは、グレート・イエス様を呼び出して、この事に関する関与を尋ねました。

この隕石は、大創造主（界王様）達の判断により、ケバルライ星をリセットする目的でこの星に落とされたようです。

私は、この星を再生してもよいかと、創造主達に尋ねたところ、創造主達もその事を待っていたと答えてくれました。

そして、この星の住人の生き残りが、この星に作られたドームの中に隠れて生きている事、他の星に逃げた人達もやがて戻ってくる事を教えてくれました。

また、このケバルライ星で、技術を開発して

いたのは、マスターAのグループである事も教えてくれました。

私は、マスターAのグループを呼び出し、その真偽を確認すると、マスターA達にもこの星の再生を手伝ってもらおう事にしました。ケバルライ星の再生が始まりました。この星を光のマカバで包み、光を送っていきます。

マスターAからもらった「星の再生のための青い光」を星全体に送っていきます。するとマスターAは、青い光だけでは足りないからと、黄色い光と赤い光の輪をケバルライ星に送り始めました。青い光で星の有害物質やネガティブなエネルギーを浄化し、黄色い光で中和させ、赤い光で星の再生力を高めパワーアップさせるようです。

さすがに科学者だけあって、行う事が理論的です。星に3色の光がどんどん満ち溢れ、星の生命力が高まってきます。私達は、創造主達に神聖幾何学を描いてもらい、グレート・イエス達の光も星に送り込みます。

そして次に私達は、ケバルライ星のクリスタル・ドームに入っていきます。クリスタル・ドームの女神は傷ついていて疲れきっています。きつと言葉にできない程の苦勞と苦痛を味わったに違いありません。私達は、この星を再生し、自然豊かな星に戻すために来た事を伝えると、女神はうれしそうに涙を流します。

私は、クリスタルの炎の種や生命のしずくを、マザー・クリスタルに入れると共に、新しく仲間になったエアリアに、この星の生態系を回復させ自然豊かな星を作るようお願いしました。

私が生み出した新種族達も、女神を癒したり、クリスタル・ドームに光を満たしたりして手助けしています。

するとクリスタルのエネルギーが回復し、雨が降り出しました。

星の自然環境が戻りつつあるようです。

私は、ここで一つの事を思い出しました。

それは、以前シリウスB星の天地創造を行っていた時に、恐竜のマスターからもらったピンク・ボックスです。

このピンク・ボックスを開くと、星の天地創造の過程が、早回しの映画のように行われ、瞬時のうちに、生命が生きていける環境が整った星が出来上がるという魔法の箱です。

私は、この星でピンク・ボックスが使えるのではないかと思い、この箱をケバルライ星の上で開きました。

すると荒涼とした大地が、どんどん緑豊かな星に変わっていきます。

私達が見ているヴィジョンの中に恐竜やドラゴン達が、現れたり消えたりします。

彼らの働きにより、植物がすくすくと育って森ができたり、豊かな生態系を持った海がうまれていく様子も見えます。

私達は、この生態系の変化に合わせて、ケバルライ星を次元上昇させていきます。

マスターや騎士団がこの星を取り囲み、みんな光を送っています。

すると、このケバルライ星のどこかにあった

ドームの中から、人々が現れてくる様子が見えてきました。

皆さん、とても驚いたような表情で、自分達の星に何が起こったのか見えています。

このグループのリーダーを呼び出すと、とても力強い男性が現れてきましたので私は挨拶を行い、星が再生されて次元が上昇し、また皆さんが住めるようになった事を伝えました。

そして、彼らが再び、星の生態系を壊すような過ちを行わないように話をし、グレート・イエス様の「愛の結晶」と「叡智の結晶」を与える事を申し出ました。

このドームから出てきた人達は、自分達が行った事を深く反省し、「愛の結晶」と「叡智の結晶」を受け取る事に同意しました。

彼等は、この星で新しい文明を新たに作り出す事でしょう。

私達は、その文明がこの天の川銀河に、素晴らしい愛と豊かさをもたらすものである事を願っています。

私達は再び、アスクレピオス様のラス・アルハゲ星に向かいました。

実は、ラス・アルハゲ星は、アスクレピオス様の癒しの神殿はあるのですが、そのほかにこの星は何もなく、豊かな自然さえもないような感じがしたからです。

私達は、アスクレピオス様と相談して、この星を緑豊かな星にして、海や森を作る事にしました。

そうする事で、さらに星のエネルギーを高め、癒しのパワーを強くする事ができるからです。

私は、恐竜のマスターからもらったピンク・

ボックスを開き、この星を豊かな生命が生まれてくるにふさわしい緑豊かな星にしました。

そうしていると、癒しの神殿のパワーと次元がどんどん上がっていき、癒しの神殿がグレート・マリア様の神聖なる滝とつながり、癒しのパワーがさらに満ち溢れていきます。神殿の奥宮が開き、癒しの天使や女神達の光も降りてきます。

するとそこに黄金色の剣をかざした見慣れないマスターが一人あらわれました。最初はコロボックルのように小さな姿でしたが、やがて立派な青年のような姿に変わりました。

彼は、グレート・ゴッデスからの使いのようで、一瞬のうちにネガティブなエネルギーを浄化したり、ポジティブな光のエネルギーに変えたりするなど、光を自由に操る存在のようです。

他にも、星に隠されている秘密を明らかにしたり星の中にある資源やエネルギーを見つけ出し利用する事ができるそうです。

また、状況に合わせて必要とされる癒しの光をおろす事などもできる万能型のマスターです。

## PART4 神聖なる祈りの聖地イエド・プリオル星

私達は、このゴールド・フレームを伴って再びケバルライ星へと降り立ち、今後の方針について話をしました。

その中で、ケバルライ星を含め、自分達の文

明を適切に管理し、素晴らしい光の星へと育てていく人種の存在が必要であると感じましたので、グレート・イエス様と創造主にお願いして、へびつかい座で活躍できる新人種を作ってもらおう事にしました。

新人種はラス・アルハゲ星のアスクレピオス様、そして先日お会いした心優しき女神、ケバルライ星のマスター、大天使サマエル、そして私の5人の遺伝子を組み合わせさせて作ってくださるように創造主とマスターAにお願いしました。

アスクレピオス様の多くの人を癒し助ける無償の愛と癒しに関する深い知識、女神の自分は犠牲になってもよいから、他の星を守りたいという献身的な愛。

そしてケバルライ星のマスターの科学技術に関する知識。

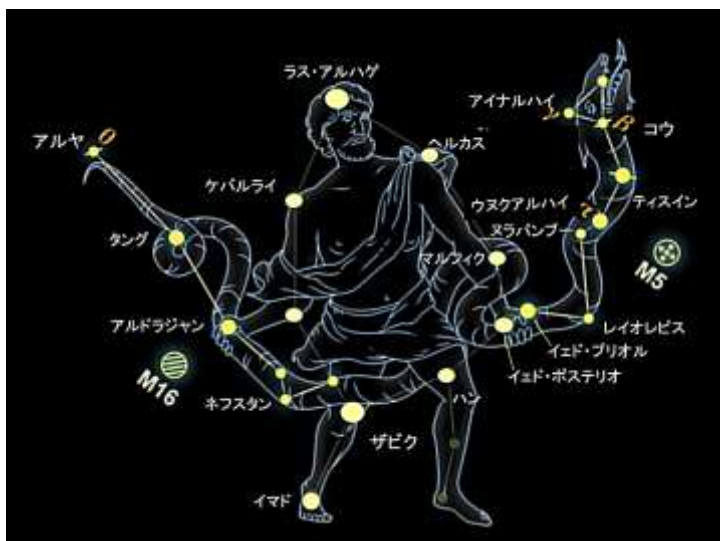
大天使サマエルの正義を貫く意思と天使のパワーなどを一つにした新人種を生み出す事で、このへびつかい座が、間違った方向に進む事なく、愛情深い豊かな文明を築く事を願って作られた新人種です。

女性は優しいピンク色の羽を持つ天使のように美しい姿です。

男性は、黒と白の羽を持つ聡明でパワフルな存在が生まれてきました。

私は彼らをライラエルと名付け、彼らの人数が増えてきたら、へびつかい座のいくつかの星に分かれて育つようにと伝えました。

彼等は、グレート・イエスとグレート・マリアの祝福を受け、愛と叡智の結晶を胸に秘めた大切な存在です。



この新人種を生みだしている間に、私達の偵察隊がへびつかい座の他の星を調べて戻ってきました。

ザビク星はとてもひどい状況です。

ネガティブなエネルギーが蔓延し、地殻変動なども起こして星の状態が、まったく不安定なようです。

ザビク星の上の次元にはスピリチュアルな存在がいるようですが、過去に大変な事が起きたようです。

ザビク星の少し上にも星がありますが、ここもザビク星の影響を受けて次元が降下し不安定になっています。

ザビク星の下にある星達も、ザビク星の影響で問題がいくつか出ているようです。

イエド・プリオル星には、とてもレベルの高いスピリチュアルな存在がいるようです。大きな問題はなさそうですが、ザビク星の影響で次元降下は起きているようです。

イエド・プリオル星とザビク星の間にある星は、星としてとても重要な星のようですが、ザビク星の影響を受けないようにシールドが張られ、星の機能を凍結して保護している

ようです。

またヘビ座の頭のところにある 3 角形の星は、とても大切な星らしく、この 3 角形のエネルギーを使ってこのへび座とへびつかい座に大きな影響を与えているようです。

ヘビ座の喉のところには、とても高い叡智を持ったスピリチュアルな存在がいるようです。

しかしへびの尾のところにある星は、ザビク星の影響で次元降下を起こしているのでサポートが必要なようです。

## ○ザビク星が凍結させられた理由

私達は、この状況から見てザビク星に直接にはいるよりは、周りの星を先に次元上昇させ、ザビク星に対する救援体制をしっかりと作ってからザビク星に入る事が必要であると考え、まずイエド・プリオル星に行く事にしました。

イエド・プリオル星に降り立つと、星はオレンジ色にも見えますが、緑の植物達がありませんので、きっと荒れた荒野の色に光が反射しているのでしょう。

私達が降り立つと、背の高い魔法使いのような賢者が現れました。

そして、イエド・プリオル星はザビク星との交流を持っていたのだが、ザビク星の影響で次元降下をしてしまった事や現在はザビク星の影響を受けないように、エネルギーを閉じて自分達を守っている事を伝えてきました。



ザビク星はとても叡智が高く様々な文明が栄え、経済的にも精神的にも重要な星として機能していたのですが、彼ら自身がおごり高ぶってしまったようです。

彼らがイエド・プリオル星に来た時も、イエド・プリオル星の大切な叡智のクリスタルやマザー・クリスタルに操作を加えて、星々のエネルギーのバランスに変化を起こしたために、自分達はザビク星との交流を絶って星のエネルギーを閉ざした、という事でした。

私は、シバ神を呼び出し、ザビク星の事について尋ねました。

シバ神は、ザビク星の他の星に対する侵略的な行為に対して、ザビク星の動きを止めるために、自らザビク星の重要なマザー・クリスタルを破壊し、地殻変動をおこしてザビク星のエネルギーを凍結した事。

ザビク星の上の次元には、ザビク星の人々がいるが、ネガティブなエネルギーの干渉を外す事により、彼らも良心的な存在になるであろう、という事を伝えてきました。

私達は、このへびつかい座で何が起こったのか、少しずつ理解し始めました。

おそらくケバルライ星とザビク星の間にも深い関係がありそうです。

## ○神聖なる祈りの聖地イエド・プリオル星

私達は次にこのイエド・プリオル星をもとの星に戻す作業に入りました。

イエド・プリオル星は一見荒野のように見えますが、非常にエネルギーの高い聖地であり、

多くの聖者達が祈りを捧げる場所のようです。

星のクリスタルをもとの状態に戻し次元上昇させる事で、この星が今までの聖なる星として復活する可能性もあります。

ザビク星を救うためにも、この星が祈りのパワーを取り戻す事は必要不可欠です。

私達が、この星のクリスタル・ドームに入ると、そこは輝きが失われ暗く沈んでいました。クリスタル・ドームの女神も疲れきって力を失っています。

私達はいつものように、新種族やホビット達の力を借りて、クリスタル・ドームを活性化するとともに、創造主やグレート・マザーの光を星に呼び込みます。

今回から仲間になったゴールド・フレイムも大活躍で黄金の剣を用いてたくさんの光を呼び込んでいます。

イエド・プリオル星のマザー・クリスタルが、特別な神聖なマザー・クリスタルに変わっていきます。

私は、このクリスタルのために、クリスタルの事に詳しい大天使を呼び出し、クリスタルのケアをしてもらいました。

するとこのマザー・クリスタルは、マゼンダーや特殊な色の光を放つクリスタルに変化していきます。

その光に合わせて、イエド・プリオル星も次元が上がり、聖なる癒しの星に生まれ変わっていくようです。

私達はイエド・プリオル星の地表に戻り、星の地上にあるマザー・クリスタルのエネルギーを整えていきます。

クリスタルには一つ一つ名前があり、その名前を呼ぶ事で、クリスタルが覚醒し本来の力

を發揮し始めます。

この星には、中心に一つ、それを四角形に取り囲むように4つの星があります。

中央のクリスタルは、プリエラル、周りの4つのクリスタルは、それぞれプリエット、プリテースト、プリニクス、プリトニックという名前です。

私達も一つ一つのクリスタルを回り、名前を呼びながら、5つのクリスタルを目覚めさせ活性化していきます。

するとイエド・プリオル星が、しっかりと次元上昇して、星が凍結状態から目覚め、機能が回復してきます。

この星が再び祈りの聖地として活躍できる時が戻ってきたようです。

## PART5 新たなる光 グレート・キング

### ○新たなる光グレート・キング

イエド・プリオル星が次元上昇してくると、さらに星の上空から、新しい光がクリスタルをめぐらして降りてきます。

新たな次元が、このイエド・プリオル星の上を開いていきます。

私達は、グレート・マザーとグレート・ファザーの光をこの星に呼び込んでいきます。

すると、その2人の光とは異なる力強い黄金の柱のような光が降りてきます。

そして荘厳な声が星の上に響きます。

「闇を光と統合しろ、闇と光を分けるな。闇を闇とし、光を光とする見方さえも止めて、それらの物を分ける事なく、一つの物として

見ろ。

皆の中にある戦いをやめるために光の柱をしっかりと作れ。

ワネスに重きをおいてすべての物事を行いなさい。

分離をやめて、光を強め、もっとクリアにして、恐れを手放せ、闇と光を統合しろ。」

その光は、この宇宙を創造するグレート・マザーとこの宇宙に生命を生みだし導くグレート・ファザーと共にあるような存在です。私は、彼の事をグレート・キングと呼ぶ事にしました。

どうやら、この日の前日に行われた、メンバーへのアチューメントで、私自身がグレート・ファザーと自分を統合する事に同意したために、私達を指導し、私の活動をサポートするために、彼は降りてきたようです。

今日のツアーの最初のほうで降りてきた、ゴールド・フレームも、このグレート・キングの使いのようです。

私が、グレート・ファザーとして新たな活動ができるように、ゴールド・フレームとキングが協力して、私達を導いていくようです。イエド・プリオル星は、グレート・キング達の力を受けて、次元が一気に上がっていきます。

とても自然豊かな星に変わり、この星の住人達も、戻ってくるようです。

## ○シールドによって守られた星

次に私達はイエド・プリオル星とザビク星の間にあるハン星へと降り立ちました。

この星は、自分達を強力なシールドで守って

いるところを見ると、かなり高レベルの魔法使いによって守られているようですが、星の動き自体は、決してよくありません。

私達は直接クリスタル・ドームに入っていました。

クリスタル・ドームも暗く、女神も眠りについているようです。

私達はクリスタル・ドームのマザー・クリスタルに、炎の種を入れ、クリスタル達を目覚めさせエンパワーメントします。

この星は、シールドを張って星の動きを止めていたために、ザビク星からの悪い影響を受けずに済んだようです。

星の地表に出ると、ホビットのような魔法使いがいます。

彼らがこのハン星の住人であり、この星のシールドを張った存在のようです。

私達は、このへびつかい座を次元上昇させ、星の問題を解決するために来た事を伝えました。

またザビク星を助け、良心的な住人達のために、星の再生を行いたいので協力してほしいとお願いしました。

彼等は、私達の言葉を信頼してくれ、共にこの星の次元上昇を行いました。

私は、この星の様子から、きっとこの星の地下には大切な資源が眠っているのではないかと思い、ゴールド・フレームに尋ねると、確かに重要なものが隠されているようです。

私が、その事を尋ねると、ホビット達もその事を知っていて、それを守るためにシールドを張った事を教えてくれました。

私は、それ以上、地下の資源について触れる事を避けました。

私達も知らない方が良いと考えたからです。

私は、これから行く暗黒世界やザビク星の事を考えて、新しい種族を作る事にしました。それはネガティブなエネルギーの中でも十分に活動できて、闇のエネルギーを光と統合できる種族です。

テトリスに、ブラック・エルフとブラック・エンジェルの闇に対する適応力とゴールド・フレイムの闇のエネルギーを光に変える事ができる能力をテトリスに持たせる事にして、新しい種族を作り出したのです。名前を、ブラック・テテラエルとし、闇のエネルギーを光に変える事が役目です。

## PART6 グレート・キングからのメッセージ

グレート・キングと出会った翌日、グレート・キングからのメッセージが降りてきました。

グレート・キングやグレート・ゴッデスの事や自分達の感情がどのような働きをしているか非常に詳しく語ってくれました。

\*\*\*\*\*

私の事を呼んでくださり本当にありがとうございます。

私達があなた方のような肉体を持った存在と交流するのは、今までなかった事です。

私達の意識は、あなたが先日尋ねられたグレート・ゴッデスと共にあります。

しかし私達は、グレート・ゴッデスとは少し異なる立場にあります。

グレート・ゴッデスは、この大宇宙の様々な世界の代表者のような存在ですが、私達はこの世界そのものです。

分かりづらいかもかもしれませんが、グレート・イエスや皆さんが界王と呼んでいる創造主、マスターAと呼んでいる存在も、この宇宙の中でそれぞれの役割をもって存在しています。

アンドロメダ星団などの星系を守護し運営したりする者がいるように、多くの星団や星雲にそれぞれの担当者がいてその星団や星雲を守護しています。

もしくは、この大宇宙全体の叡智の光や愛の光を担当する創造主クラスの者達もいます。グレート・ゴッデスは、まさにグレート・イエスのレベルと同じような創造主達が集まっているグループで、天の川銀河の中にいる小創造主などは参加していません。

いうならば、その星団や星雲の最終責任者とも呼ぶべき存在達の集まりがグレート・ゴッデスなのです。

彼等は、この大宇宙を運営するために協議を行い、また力をあわせてこの大宇宙を運営しているのです。

先日あなたが、グレート・ゴッデス達に呼ばれたという事は、あなたもやがてこのグレート・ゴッデスの仲間入りをしなさいという事です。

そのために、あなたは今、天の川銀河をはじめ多くの星を回り、また太陽系の進化のために働き、グレート・ゴッデスになるためのトレーニングをおこなっているのです。

もちろん肉体を持った地球人が、すぐにグレート・ゴッデスの仲間入りができるわけでは

ありませんが、あなたは、その資質と能力を認められ、やがてそうなるように見守られているのです。

その理由は、やはりグレート・マザーを目覚めさせたのがあなたであるという事です。そして、グレート・マザーを目覚めさせたものは、グレート・ファザーになるよう運命づけられているのです。

今グレート・ゴッデスの間でも、あなたを受け入れるか否かの討議が盛んにおこなわれ、あなたの動向は多くのゴッデス達の注目の的なのです。

そのために、私達が現れ、あなたが間違えた方向に進まないように導く事となったのです。

私達は、グレート・ゴッドと共に仕事をする事もありますが、基本的にはグレート・ゴッドではありません。

グレート・ゴッドのさらに上の次元に、グレート・マザーとグレート・ファザーがいて、私グレート・キングがいるのです。

グレート・ファザーとグレート・ゴッデスは、部分的に重なっています。

グレート・ゴッデスの中から、グレート・ファザーが生まれ来る事もありますが、グレート・ファザーが必ずしもグレート・ゴッデスに属しているというわけではありません。

グレート・ゴッデスはすべてこの宇宙の中に存在していますが、グレート・マザーやグレート・ファザーは、この宇宙の中にも外にも存在しています。それは私も同じ事です。

この宇宙の中において、グレート・ゴッデスと共にこの宇宙の運営にかかわる事もありま



すが、この宇宙の外にいて、この宇宙の成り行きを見定める事もあります。

つまりグレート・ゴッデスと共に行動する事もありますが、グレート・ゴッデスそのものを生成したり消滅させる事も行うのが、私達の役目です

先日のアチューメントの時、あなたがグレート・ファザーとの統合を望み、それを果たしたために、私があなたの前に現れ、あなたを導く事となったのです。

確かにあなたは地球人として肉体をもって生きていますから、純粋なスピリチュアルな存在のように、自分の意志のみで自由に存在できるわけではありません。

この物質的な世界で生きていく為に、お金を稼いだり、食事をしたり、睡眠をとったりなどと様々な煩雑な事も行わなければなりません。

しかしそれらの事を通して学んでいかなければなりません。

闇と光の事に関して、私はうるさく言いましたが、確かにあなた方の世界では、すべてが分離の法則で運営されていますので、闇と光も分離され、お互いが相反するもののように見えるのも当たり前ですが、あなたには、その考えから早く脱却していただきたいと考えています。

グレート・ファザーはすべての世界を知り、そのすべてを統合の視点から運営しなければならないからです。

彼にとってすれば、暗黒の世界も、重要な世界の一つです。

その暗黒の世界に対して、何のネガティブな感情も価値判断もありません。

ただ暗黒の世界が、存在する役目と目的があるというだけです。

全ての世界を知れば知るほど、あなたの視野は広がり、価値観も広がっていきます。幾多もの世界が統合された後に、グレート・ファザーとしての大きな意志があります。

あなたはその意思を構築するために、この宇宙で様々な事象を見せられ学んでいるのです。

そのために、ものの見方に感情を交えない事が必要となるのです。

あなた方が闇という時、闇に対して、嫌悪や恐れや不安、憎しみなどの様々な感情がその中に含まれます。

そのために、闇の純粹な存在目的を見失い、皆さんの感情で作られた皆さん自身の「闇」が存在するのです。

その闇は本来の闇とは異なる存在であります。

本来の闇はどこかに置き去りにされ、皆さんが作り出した闇と皆さん達は戦い始めるのです。

皆さんはただ素直に「闇の存在目的」を知ればよいのです。

「闇」とは、すべてが生み出される場所を形作るものです。

すべてが生み出される時、闇の世界を通過してそれらの物は光の中に生み出されます。

いうならば、母親の子宮と産道のようなものです。

この子宮には多くのエネルギーが凝縮して集められます。

その世界を通して赤ん坊が、スピリチュアルな世界から生み出されていくのです。

赤ん坊は、この世界に生み出される前に、瞬時にこの世界の苦痛や悲しみ、そして喜びや楽しさを子宮と産道の中で体験し、この世界に生れてくる準備をします。

光りもささない暗い世界である子宮の中で生命が育って行く事も、大きな闇の力の働きであるといえます。

闇は形あるものをこの世界に生み出すために必要なのです。

しかし、その暗く光もささない闇の世界に対する恐怖や恐れ、それは子供自身がこの世に生み出されていく恐れや不安と同じものが、闇という言葉に新たな意味づけを行ったのです。

闇は、人間にとって、新たな恐怖の対象となりました。

そして、自分の中のネガティブな感情や恐怖、不安、憎しみなどを心の闇と呼ぶようになったのです。

そして、闇に対する考え方は、さらにエスカレートして、闇は人の意識や理性を狂わす存在であるようにされてしまったのです。

今人類によって新しく意味づけされた闇、人の心を狂わし、暴力的な行為へと導く闇が横行しています。

あなたがたは、それをレプテリアンと呼んでいます。

これは地球人が作った闇を代表する存在です。

レプテリアンは、憎しみと恐れ、欲望から生まれ、人の心を操り、その人の欲望や感情を、この世に実現しますが、それはあくまでも、人間達が作った闇という概念に忠実に従っているだけです。

あなたは今回、この宇宙のもう一つの世界である暗黒世界へと入ります。

あなたの中で、暗黒という言葉に対する恐怖や不安が浮き彫りになり、何をしたらいいのか、闇黒から自分達を守るためにはどうしたらよいか、などと考え込む事によって、暗黒にも新たな意味を作り始めています。

ただ純粹にそのものを見てください。

最近星のツアーでもあらかじめメッセージを送る事はしません。

あなたがメッセージにとらわれてしまうからです。

ただありのままの姿を見てください。

その世界がどのような世界であるのか、本来の姿を見ていく必要があるのです。

暗黒の世界とは、形無き者の世界です。

これから生まれだそうとする者達が憩い、その準備を行うための世界です。

いろいろなエネルギーがそこにあり、豊かで鮮やかな世界が本来は広がっています。

様々な生命のシステムがあり、これから生まれ出ようとする者達は、どのような世界に生まれだすのかを自ら選ぶ事もできます。

ただそこは生み出される前の世界ですから、すでに生みだされた者達には見る事ができません。

それ故に「暗黒」なのです。

唯、生きているものには見えないという理由だけで「暗黒」という名前がついています。

それ以上の意味も、それ以下の意味もありますが、皆さんが暗黒という言葉に対しても持つ恐怖や不安や好奇心が、その暗黒という言葉に新しい意味を持たせ、混乱させているのです。

暗黒という言葉のを忘れ、ただそこに行って体験してください。

そこはただ、あなたにとって見知らぬ世界です。

本来ならば、最も愛と多様性にあふれている世界かもしれません。

光が当たらないという事は、この世界に顕現していないという事だけなのです。

この世界に生れいずる前の世界であるという事だけです。

そこに新たな意味づけをしなければ、この世界の問題は大きく解決していきません。

これからの新しい世界を作るあなただからこそ、この言葉のからくりを見破ってください。

そして闇や暗黒の本当の大切な意味を知ってください。

そしてあなたが、それらの言葉の定義から生まれた存在達を言葉から解放し自由にしてあげてください。

今各星に起こっている問題も同じです。

各星の人々も、自分達が作り出した言葉に秘められた感情や恐怖、不安にとらえられています。

それは、創造主達でさえもそうなのです。

自分達が作り出した恐怖や不安に駆られて行動しているため、すべてが恐怖と不安でいっぱいになっているのです。

星の人達を裁いたり、星を凍結したり、それも全て自分達が作り出した不安や恐怖を自分の世界に体現しているのです。

世界は、自分達が見たいもの、自分達が体験したいものから成り立ちます。

あなたは、その事をもっと深く知り、自分をニュートラルな状態に持ってきたとき、世界はもっと異なって見えます。

グレート・ファザーとして、あなたが知らなければならぬ事は、もっとたくさんありますが、まずは自分の思い込みを外す事から始めてください。

自分の不安や恐れをこの宇宙に投影せず、ただ純粋な愛の意識のみを投影するようにしてください。

この宇宙がありのままの姿で映し出されてきます。

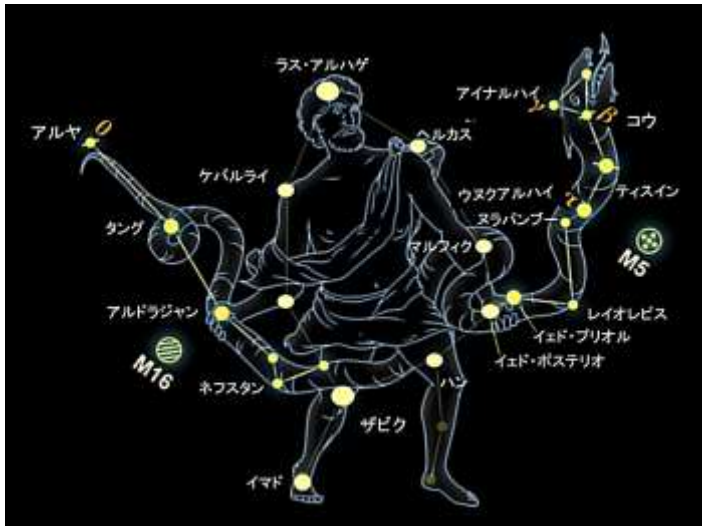
そのありのままの宇宙に対して、自らの感情を捨てて行動してください。

私達は、あなたが見ている世界から、あなたの感情を取り除き、純粋な世界をあなたの前に表しだすお手伝いをします。

## 第2章 星の新生を行う

### 星座 へび座

#### PART 1 惑星意識グレート・スターへの通路



#### ○惑星意識のマスター グレート・スターの登場

今日もへびつかい座とへび座のツアーが始まりました。

私達が創造主の神殿に入ると、驚いた事に大変なマスターの訪問を受けました。

まるで赤ちゃんの様にアデティーヤ様に抱かれていたのは、偉大なる神聖幾何学に守られた惑星意識のマスターでした。

先日個人的なツアーで、創造の世界（暗黒世界）に入った時、その世界のネガティブなエネルギーを浄化し世界の再生を図るために、4人のグレート達（グレート・マザー、グレート・ファザー、グレート・キング、グレート・エンジェル）の光を呼び込み、創造の世界にエネルギーの柱を立てた時、その上の次元の扉が開かれたのでした。

その世界で、私達を待っていたのは、なんと複雑な神聖幾何学によってその身を守られていた幼児でした。

幼児といっても、私達にはそのように見えるだけであって本来は、このグレート・マザー達を超える意識の担い手である事は間違いありません。

彼はその偉大で、広大なスピリットにより、星の意識を生みだしているようでした。

その惑星意識の生みの親ともいえる創造主を超えた創造主が私達の前に姿を現したのです。

彼は私達と出会う事で、私達の意識と深くつながり、私達の活動を見守る事になります。特に、私達が傷ついた星を再生する時、グレート・スターは、星（惑星&恒星）の意識に働きかけ、星の再生を手伝ってくれます。

また新たな星を生み出すような局面が現れた時も、私達と共に活動してくれるそうです。彼は、私に一本の細いワンドを授けてくれました。

そのワンドが、私達と彼をつなぐエネルギーの象徴のようなものでした。

私達は、ツアーに出会かける前に、この地球と太陽系そして天の川銀河に、創造主達の光をつなぎ、グレート達の光を呼び込みます。色とりどりの光が、この地球や太陽系に満ち溢れます。

その中には、マザーの優しいすべてを包み込むような波動もあれば、グレート・キングのずっしりとした柱のような光もあります。それらの光の中で、私はこのグレート・スターの名前を呼び、偉大なる光をおろしていただきました。



## ○イエド・ブリオル星とグレート・スターへの道

私達は、まず前回次元上昇したイエド・ブリオル星へと向かいました。

この星は、聖なる祈りの星で、非常に次元の高い人達が活動しています。

星の様子も美しく整い、遠くに雪をかぶった山や緑豊かな森も見えます。まるでシャスタ山を見ているようです。

イエド・ブリオル星の賢者達が、私達にしてもらいたい事があるらしく、私達を一つの建物に案内します。

建物といっても、森の中にある小屋のようなみすぼらしいものですが、どうもこの中に、ある世界に続く地下通路が隠されているようです。

イエド・ブリオル星の賢者達は、いつもこの通路を通して、偉大なる光や多くの情報、創造に関する叡智を受け取っていたようですが、何かの事情でこの通路がふさがれてしまい、その世界と交流が持てなくなったようです。

私達は、テトリス一族、聖なる水の騎士団、コロボックル族達を派遣し、通路の中に入ってもらい、通路の障害を取り除き、中に詰まっていたネガティブなエネルギーを浄化していきました。

そして、ブラック・エンジェルとブラック・エルフに頼んでその地下通路を整備してもらいます。

地下通路がきれいになるとイエド・ブリオル星の賢者達は、喜んで地下通路の中に入っていきます。

私達も一緒に、地下通路の中を進むと、白い光に包まれ、次元がどんどん上がっていく様子が分かります。

そして白い光を抜けると、そこにいたのは、先ほどのグレート・スターの赤ちゃんです。イエド・ブリオル星は驚いた事に、このグレート・スターの次元とつながっている星だったのです。

赤ちゃんの姿をしたグレート・スターは、私達を優しく迎え、その圧倒的な光とパワーで私達を包んでくれます。

グレート・スターが、赤ちゃんの姿をしているのは、私達に分かり易いようにその姿をとっているだけで、本来は、形にする事ができない程の大きさのスピリットです。

そしてイエド・ブリオル星は、このグレート・スターの意志と光を受けて、新しく生まれる星の意識の誕生と成長に深くかかわっている星のようでした。

その後、私達はしばらくの間、グレート・スター様の光を私達のハートにとどめるために、共に祈らせていただきました。

## ○星を物理次元で創造するウヌクアルハイ星

私達は、グレート・スターの次元に入らせていただき、高揚した気分に戻ってきました。さて旅を続けましょう。次はウヌクアルハイ星です。

偵察隊やメンバー達のヴィジョンによっても、へびの頭にある三角形の星には大切な秘密がある事が分かっていますが、その3角形とへび全体をつなぐ大切な役割を担って

いるウヌクアルハイ星とその上のデルタ星に大変な問題が起きている事が報告されていますので、私達はそれを解決しなければなりません。

私達は、ウヌクアルハイ星に降り立ちマスターを呼び出しました。

彼等はもうすでに私達がやってくる事を知っていた様子です。

この星も現在次元が降下しており、グレート・スターへと続く通路が途切れた事により、この星の本来の活動ができていないようです。

この星には、新しく生まれる星の創造や新生、再生にかかわる大切な種が保存されており、それがグレート・スターから送られてきた新しい星のエネルギーを、物理的な世界におろすための大切な仕組みとなっているようです。

この星の働きは、スピリチュアル・レベルで生まれた星を物理世界におろし、星の種を使ってその星をより豊かな星へと育てていく事が目的のようです。

そのために、星の物理的なボディを作る働きを担うカシオペア座と密接な連携を保っているようです。

星の意識の成長は、先ほどのイエド・ブリオル星のマスター達が担当しているようですね。

もちろんここは、マスターA達の中でも、最も優秀なグループにより指導されているらしく、この星のマスター達も深い叡智と神聖な光を持っているようです。

しかし、この星が次元降下する事により、マスターAの技術者やこの星の住人もこの星

から離れなければならなかったようで、現在は新しく生まれた星を育てる仕事もできていないようです。

もっとも、グレート・スターの方も、彼が基盤としている創造の世界が大量のネガティブなエネルギーによつて活動を停止しているので、新しい星も生み出す事ができていませんでしたので、この宇宙全体で星の新生や再生の動きが停滞していたわけです。

私達はクリスタル・ドームに入り、クリスタル・ドームに炎の種を入れ、光を導きます。おそらくとても大きな質量をもった星のようで、なかなか動きません。

マザー・クリスタルであるライオネットに呼びかけ、グレート・マザーやグレート・キング、グレート・エンジェル達の光をどんどん呼び込みます。

そしてこの星にも光のマカバを作り、創造主達にお願いして、最大級の神聖幾何学を描いてもらいこの星の次元上昇を行います。

グレート・スターもこの星と自分の次元をつなぐ通路を光によって修復しているようです。

ウヌクアルハイ星が少しずつ次元上昇していくと、クリスタル・ドームの中にフェアリー達が現れ、この星の中に飛び立っていきます。

次元上している間に、この星を取り囲むように重たいエネルギーがある事が分かりました。

特別問題があるようでもないのですが、その重たいエネルギーの正体が気になるところです。

## ○大きな剣が刺さっているティスイン星

私達は次に、最後の難関ともいえるティスイン星に降り立ちます。

ティスイン星の大地は赤く焼けただれているような赤黒い大地です。

おそらくクリスタル・ドームにも大変なエネルギー・アタックが行われ、地殻変動や異常気象などを起こしているようです。

私達は、この星に光のマカバを作り、創造主に神聖幾何学を描いてもらい光を送るとともに、マスターAの星を再生する青い光、星の有害なエネルギーを中和する黄色い光、星にエンパワーメントする赤い光等を送り、星の再生を進めます。

私達は、クリスタル・ドームに入ると、女神が力尽きて倒れています。

私はすぐに癒しの女神や天使達を呼び、女神に癒しの光を送ります。

アスクレピオス様もすぐに駆けつけ、彼女を介護しています。

体もスピリットも大きなダメージを受け、しばらくの間休養が必要です。

私達は、クリスタルの炎の種をマザー・クリスタルに入れ、クリスタル・ドームに、生命のしずく、星のしずくをおとしこの星を内部から活性させていきます。

もちろん、グレート・マザーをはじめとする4人のグレート達とグレート・スターの光をこの星に呼び込みます。

宇宙の魔法使いに出てきてもらい、この星で何が起こったかを教えてもらいました。

彼によると、このティスイン星は、他のへび座の星や頭にある 3 角形の星とも深くつながり、このへび座に入ってくるネガティブなエネルギーが 3 角形の星に流れ込まないように、自分の身を挺して守っていたようです。へび座全体がこの天の川銀河にとっては、浄化のための通路であり、そのエネルギーを浄化して循環させていく事がこの星座の働きのように。

もともと、この頭の三角形の星達が、浄化のエネルギーを持ち、その浄化のエネルギーがへび座にいきわたって、ネガティブなエネルギーをきれいにしていたようですが、ある理由により、三角形の星のマザー・クリスタルの配置が崩れ、浄化のエネルギーも弱まってしまいました。

そして、へび座の足元からは、今までにない大量のネガティブなエネルギーが流れ込んできたので、このままでは、3 角形の星々が破壊される恐れがあったので、デルタ星が自分が犠牲になり、三角形の星を守ったようです。

私達は、この星の地表に降り立ちピンク・ボックスを開きました。

この星はおそらく最初からリセットされ、新しく生まれ変わらせる必要があるらしく、ピンク・ボックスからは、星の新生にかかわる原初のエネルギーが流れてきます。

星々が火山の噴火によって熱く燃え盛り、また長い雨によって地表が冷やされて行きます。

そして、この星にも再び微生物や植物が生れ、小さな動物達も生まれてきます。

少し時間はかかりますが、やがてこの星も、再び生命が存在できるような素晴らしい星に生まれ変わる事でしょう。

この星の再生の力に合わせて、この星も少しずつ次元が上がっていくようです。

私達は次に、このティスイン星に刺さっている剣を抜く事にしました。

この剣に関して、だれの関与か調べるために、グレート・オニクス様とエルシーダー様を呼び出しましたが、彼等はこの事に関して関与していないようですが、剣を抜く事に関しては同意してくれました。

私達は 4 人のグレート達の光をこの剣におろしていきます。

そしてグレート・イエス様、グレート・マリア様にもお願いして、この権威光を統合してもらいます。

するとこの剣が光の中で溶けていき、グレート・オニクス様達が、剣を抜いてくださりました。

この剣を抜く事で、このデルタ星の働きも元に戻るようです。

しかしこの剣を指したのは、誰でしょうか、謎が残ります。

## ○ブラック魔法使いの登場

その時、アスクレピオス様が口を開きました。実はこの剣は、アスクレピオス様にとっては、光と闇を統合するための薬を作るための試練としてここに刺してあった事を伝えてきました。

この剣は、彼を成長させ、新しい薬を作るために必要な行為だったようです。

またへび座の人々にとっては、より高次の働きが、ここに生れるようにとの祈りが込められて、あえてこのような事を行ったようでもあります。

そして、それを行ったのは、宇宙の魔法使いと対局をなすブラック魔法使いであるとの事です。

ブラック魔法使いといっても、ブラック・エンジェル達の働きを見るならば、宇宙の魔法使いと同じような力を持ち、闇の世界でも、十分に活躍できる能力を持った魔法津使いという事でしょう。

私はためらわずに、ブラック魔法使いを呼び出しました。

すると本当に、ブラック魔法使いは私達の前に姿を現し、この剣が抜かれた事に対して、喜びの言葉をかけてきました。

彼は、私達が行ってきた事も熟知し、これから私達とともに歩む事も約束してくれました。

## PART 2 星が生まれる仕組みを解き放つ

### ○星を生み出すグレート・スターと創造の世界

今回のツアーの中で、この2月から3月にかけての私達の行動の目的が明らかにされました。

それは星が生まれてくる仕組みを知り、その働きを正常な状態に戻すという事です。

私が3月5日に、Kさんと共に行った創造の世界(暗黒世界)の上の次元で、グレート・



スターにより、星の元となるエネルギーが形作られます。

それは、星の意識であり、物理的な星が生まれてくるために必要な設計図のようなものが、星のスピリチュアルな次元として生まれてくるのです。

創造の世界は多くのエネルギーが流れ込んできており、宇宙全体のエネルギーの循環を行っているような世界ですが、そのエネルギー達が、星を作っていく大きなエネルギーになっているようです。

ただし、私達が行くまでは、あまりにも多くのネガティブなエネルギーがその世界に満ちており、エネルギーの循環は滞り、創造の世界の機能が止まっていました。

そこで働くマスター達も分断され、意識とエネルギーの統合が必要でした。

私達は、暗黒世界に入るとマスター達を探し出し、創造主に神聖幾何学を描いてもらい、グレート・マザーやグレート・キング達の光を呼び込みました。

そしてテトリスやブラック・テトラエル、神聖なる水の騎士団、そしてブラック・エンジェル、ブラック・エルフ達と協力して創造の世界に満ちていたネガティブなエネルギーを取り除きました。

またこの世界のマスター達にもたくさん光と食べ物を与えると同時に、グレート・ゴッデスから預かった光の玉をマスターに渡して彼らの分断されていた意識とエネルギーを一つに統合していったのです。

そうする事で、この上の次元にあるグレート・スターに星を新生するための、十分なエ

エネルギーを供給する事ができるようになりました。

グレート・スターはそのエネルギーを使用して新しい星を生みだします。

また私達は、この創造の世界に多くのネガティブなエネルギーが入り込まないように、この世界と私達の世界をつなぐ大きなエネルギーの渦の上に、フィルターのような装置をつけ、入り込んでくるネガティブなエネルギーに対して光を放射し、ネガティブなエネルギーを光と統合する仕組みを作ってきました。

この場所は、前回生み出されたブラック・テトラエルのグループとブラック・エンジェルのグループが協力して守護します。

## ○星を物理次元におろすへび座とカシオペア座

このようにして生み出されてきた星のエネルギーは、イェド・ブリオル星とウヌクアルハイ星に送られるようです。

もちろんこの大きな大宇宙には、同じような働きをする星や星団がたくさんありますが、天の川銀河で、この星の新生にかかわる星座は、へびつかい座とへび座、そしてカシオペア座のようです。

グレート・スターによって生み出された新しい星のエネルギーのうち、スピリット部分は主にイェド・ブリオル星へと送られ、彼らの祈りによって育てられるようです。

また星のボディの方はウヌクアルハイ星に送られ、彼らが持つ種と呼ばれるシステムによって、物理的な世界へとおろされていきま

す。

またカシオペア座でも、星のボディとなるようなものが作られ、それがウヌクアルハイ星によって物理次元におろされた星のエネルギーと一つになり新たな星が、生み出されていくようです。

そのために、私が昼のツアーでへびつかい座とへび座の修復にあたり、夜のツアーでカシオペア座の修復を行いました。

さらに個人ツアーで、創造の世界をきれいに整えグレート・スターの次元とこの世界を再度つないでいった事がすべて、星が新生されるシステムを正常化するために必要な事であった事が理解できました。

最初は、別々に思っていたものが、星の再生、グレート・スターという 2 つのキーワードによってすべてがつながっていったのです。

## ○へび座の三角形の星の秘密

私達は、ついにへび座の 3 角形の星へとたどり着きました。

その過程で、星の創造の仕組みとそれに伴うエネルギー循環の大切さも教えていただきました。

さてこの、へび座の三角形の星にはどのような秘密があるのでしょうか。

この 3 角形の星は、へび座全体に浄化のエネルギーを流していた事が分かりましたので、私はメンバーの一人にお願いして、これらの星のクリスタルの配置を整えてもらい、次元上昇のための光を呼び込みました。

するとそこに浮き上がってきたのは、驚くほ

ど巨大なドラゴンで、へび座と一体になっているようです。

このへび座のドラゴンは、自らのエネルギーを使い果たしてとても弱り切っているように見えます。

おそらく創造の世界（暗黒世界）と、このドラゴンは深くつながっているようで、今まで創造の世界が十分に機能していなかったために、ネガティブなエネルギーを浄化できずに、自分自身のエネルギーを使い果たしてしまったようです。

私達は、このアイナルハイ星やコウ星によって作られる 3 角形の星の共通のクリスタル・ドームに入りました。

そしていつものようにクリスタル・ドームのマザー・クリスタルに炎の種を入れたり生命のしずくや星のしずくを入れました。

さらに、この三つ星の上に、創造主に再度神聖幾何学を描いてもらい光を導きます。

クリスタル・ドームにも、グレート・マザー達の光を満たし、星のエネルギーを活性化していきます。

それと共に、エルエル達のシエンロン族にこの龍を守ってもらいエンパワーメントしてもらいますが、まだその光は十分ではありません。

私は、どうしたらよいか、しばらく考えました。

そして、おそらくこの宇宙に存在しているであろうグレート・ドラゴンを呼び出し、このへび座のドラゴンを助けてもらう事にしました。

私がグレート・ドラゴンの名前を呼ぶと、本

当に空が光輝き、そこから巨大なドラゴンがこの星の上空に現れ、へび座のドラゴンに光を送り始めました。

へび座のドラゴンからも喜びの波動が伝わってきます。

彼は、グレート・ドラゴンより龍族の紋章をもらったようで、その輝きがどんどん増してきます。

グレート・ドラゴンは、エルエル達をはるかにしのぐ大きさとパワーを持ち合わせているようです。

私とグレート・ドラゴンはハートとハートで光をつなぎ、共に協力してへび座に光を送る事で、さらにへび座全体を活性化して、浄化の働きを強めていきます。

そして、へび座のドラゴンが元気になる事で、へび座に流れ込んでくるエネルギーをさらに高次元のエネルギーへと変換できるようになるのです。

このドラゴンは、この星の浄化の循環を象徴する存在でもあります。

やがてこの三つ星が次元上昇していくと、マザー・クリスタルの近くに、1人のマスターが現れました。

この三つ星のマスターのようですが、少し元気がないようですので、グレート・キングやゴールド・フレイム、そして観音様達から光を送ってもらいます。

このマスターは、グレート・ドラゴンの光を取戻す事でこの三つ星を活性化して、へび座のドラゴンを目覚めさせ、へび座の浄化の働きを強くしようと願っていたようです。

そして、へび座の次元を上げていく事で、さらに高度なエネルギーも扱えるようにした

いとこの事でした。

## 〇へび座の新人種、ドラゴンの騎士団の誕生

私達は、このへび座をさらに高次元の星にするためにはどうしたらよいかと尋ねました。すると新人種を生みだしなさいという声がしました。

新しい星の再生と天の川銀河のエネルギーの循環をつかさどる星の新人種なので、これはかなりレベルが高くないと困りますので、思い切ってグレートのメンバー達に、へび座とへびつかい座を守護する騎士団を作ってくれるようにお願いしました。

グレートメンバーも快く引き受けてくれたので、新しい新人種は、グレート・ドラゴン、グレート・キング、グレート・エンジェル、そして黒い魔法使いのこのへび座にかかわる最高クラスのグレート達の遺伝子を融合して新人種を作る事にしました。

グレート・マリアージュのビーナス様や創造主達、マスターAにもお願いして、新人種誕生のための光をこの星におろしていきます。星が輝かしい光で包まれますが、今回の融合は、もともとグレート級なのですぐには誕生してきません。

しばらくすると、光の中から、小悪魔のような存在が飛び出してきて、ドラゴンの中に入っていき、ネガティブなエネルギーを取り除いているようでした。

まさか、今の小悪魔が新人種でないよね…と不安になっていたころ、空からいきなりドカーンと大きな光の柱が降りてきました。

そしてその中には、およそ 10 体ほどの、大きなドラゴンとその上にのる立派な騎士が  
生みだされてきました。

とても巨大な姿とパワーに圧倒されます。  
騎士団の一人一人が、マスタークラスのパワーと能力を秘めているような圧倒されるばかりの存在感があります。

この 10 体ほどの巨大なドラゴンの後ろには、さらに大きなドラゴンとその上に乗る騎士がいます。

おそらく彼が団長でしょう。

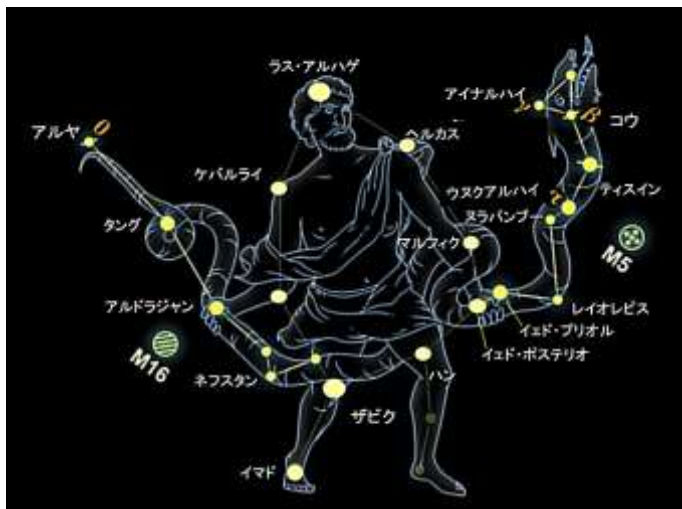
彼を呼び寄せると、まさにグレート・キングのようなパワフルな存在です。

私のハートと光を通わせ、私達のグループの仲間入りです。天の川銀河最大の騎士団の誕生というところですよ。

これで、へび座とへびつかい座もしっかりと守られる事でしょう。

次回は、へび座に残されたザビク星へと降り立ちます。

### PART 3 グレート・スターとそのゴッデス達



## ○白い騎士となってザビク星に向かう

この日のツアーは、ザビク星を尋ねる事から始まります。まずグレート・イエスからは、この星は大切な星なので、皆さんも白い光の騎士となって行ってくださいとのメッセージがありました。

恐らく、このザビク星を覆っているとても重たいエネルギーに負けないように、純粋な光としてザビク星の対処を行ってくださいという意味だと思います。

私達は、ザビク星の上空にとどまり、ザビク星の様子を観察します。

やはり星全体が重たい空気に包まれて生命がいる様子がありませんし、星の地表も大きな穴が開いていたり、地震や自然気象の異常などが起こった様子も見受けられます。

いったいここで何が起こったのでしょうか、私達はこの星に入る前に、十分にこの星を浄化する必要があるようです。

私達は、この星に光のマカバを作るとともに、マスターAの5色の光を星におろし、星の浄化を行います。

星を再生させる青の光、有害な物質を中和させる黄色い光、星にパワーを与え再生力を高める赤い光、感情的なエネルギーを浄化する紫とオレンジ色の光です。

すると、どこからか虹色の雲がたくさん沸き起こり、この星に光を送っています。

おそらく創造主達も、このザビク星の再生を願い私達のサポートに入っているようです。

私は続いて、創造主達に神聖幾何学を描いてもらい、創造主やグレート・ゴッデスの最大



級の光をこのザビク星に呼び込みます。  
この星は光で十分に浄化しない事には入れ  
ないようです。  
私はその間にグレート・イエス様からこの星  
で起こった事を詳しく教えてもらいました。

## ○星々の文明の交差点 ザビク星

もともとザビク星は、星の創造のサポートを  
行う星として活躍していました。  
ザビク星の役割は、星々をその生れ出る世界  
に合わせて、その成長をアレンジする事でした。

そのために、様々な星の成り立ちや文化、発  
展状況を知るために、多くの星と交流を行い、  
またザビク星へも多くの星の人達が自由に  
出入りできるように、ザビク星の門戸を開い  
て受け入れていました。

そのためにザビク星は、様々な文化が発展し、  
精神的な側面のみならず文化的、経済的な側  
面もどんどん這ってしていきました。

しかしそのようなザビク星に大変な問題が  
起きたのです。

それは、ザビク星に来た種族の中でとても強  
い支配欲と乱暴な性格を持った種族がいた  
のです。

争う事も知らず武力も持たないザビク星の  
人達は、あっという間にその種族の人達に支  
配され、自分達の大切な神殿も文化も奪われ  
てしまい、自分達の神聖なる仕事もできなく  
なっていました。

そしてザビク星を支配した種族は、ザビク星  
にいた他の種族も支配下に置き、他の星々へ

も侵略していきました。

ザビク星人の中には、その種族に手を貸す人々も現れ、他のへび座の人達もザビクの人だからと安心して付き合っていたら、そのあとにその乱暴な種族が入ってきて、自分達の星が混乱さえせられたり、大切な資源が奪われたりする事が起きてきたようです。

多くの星は、自分達の星を守るために、その種族と戦ったり自分の星を凍結したりしました。

やがてそのような状況を見かねた創造主達によって、このザビク星は隕石が落とされ、地殻変動や自然気象の異常が引き起こされ、星は次元降下してリセットされる事になりました。

それ以来、生命のない星となり、私達が来るのを待っていた状態だったようです。

私達は、グレート・イエスの話を聞き終わると、この星の再生に向かって動き始めました。彼が言った白い光の騎士とは、純粋な光をこの星にもたらし星を再生してくださいとの事だったので。

私は偉大なグレート達の光をドンドンこの星に呼び込むと、ようやくザビク星が輝き始めました。

## ○クリスタル・ドームの生命の種

私達は、頃合いを見て星の地表に降り立ちます。

全く自然が見当たらず、荒れ果てた星です。私達は、クリスタル・ドームに入りますが、ここにも活気がなく暗く沈んでいて、女神達の姿も見当たりません。

しかしこのドームには、大きなマザー・クリスタルが3つもある事から、とても重要な役割を担う、大きなパワーを秘めた星である事が分かります。

私は、新人種を呼び出し、このクリスタル・ドームに光をもたらし、愛とパワーを与えるように指示をだし、私のハートの中から、クリスタルの炎の種や生命のしずく、星のしずくなどをクリスタルにもたらしめます。

ホビット達も一生懸命にクリスタルにサプリメントなどを与えて光を取り戻す手伝いをしています。

私は、このクリスタル・ドームにグレート・マザーやグレート・キングの光をもたらすとともに、一つ一つのクリスタルを活性化し始めました。

一つ目のクリスタルは、レディと呼ばれ、この星の愛のパワーを豊かにするクリスタルです。

二つ目のクリスタルは、マスターと呼ばれ、この星の叡智のパワーを高めるクリスタルです。

三つ目のクリスタルは、マザーと呼ばれ、この星の大地の力、生命が生きていく力を生み出すクリスタルです。

三つのクリスタルが活性化していくとそれぞれのクリスタルの中から3人の女神の姿が浮かび上がってきました。

そして、3人の女神は、やがてマザーと呼ばれる女神へと姿を変えていきました。

マザーは、自分達の星が凍結させられた理由について語り、やがて自分達を目覚めさせるために、私達が来る事を待っていたと語り、私達の来訪をととても喜んでくれました。

女神達も、このザビク星で起こった事を深く悲しみ、苦しみを味わったようです。

自分達もこのクリスタルの中で眠りにつき星を凍結するしかなかった事を悔いています。

そして、マザーは、私達にこの三つのクリスタルのちょうど真ん中に光の種があり、その種を使用する事で、光を多くの星に伝えたり、生命を育てたり、また星のいくつもの次元をつなげていく働きをおこなえる事を教えてくれました。

マザーは、この種を星の再生のために、このドームの中や星の地表に植えたいと願っているようです。

さらにこの星の奥にある次元のマスターによって、この種が生みだされ、ザビク星の働きが維持されている事も教えてくれました。

私達はこの星の奥の次元に行く前に、この星をさらに活性化し、自然を取戻し、生命達が生存できるような状況にするために、まず恐竜のピンク・ボックスを地表で開きます。恐らくこの星が再生するためには、ピンク・ボックスを使用したとしても、しばらく時間がかかりますので、それまで私達は、ザビク星の奥の次元を尋ねる事にしました。

## ○グレート・スターとそのゴッデス達

私達は、再びクリスタル・ドームに戻り、マザー・クリスタルの中を通過して、星の奥の次元に向かいます。

最初は真っ暗な道が続きますが、やがて二つに分かれている道があり、私達は光に輝いて

いる右の道を進む事にしました。

しばらく行くと、賢者のような門番が私達を待っており、扉を開いて先に進むように言われました。

私達は扉を開きさらに進むと、そこにはグレート・スターと数名のグレート・ゴッデス達が私達を待っていました。

このグレート・ゴッデス達は、グレート・イエス達のグレート・ゴッデス達とは異なり、見えない世界、まだ形として現れていない創造の世界（暗黒の世界）を担当するゴッデス達のようなのです。

ちょうどグレート・イエス様達が、創造された光の世界を担当するゴッデス達であるのに対し、グレート・スターのゴッデス達は、この物理世界に創造される前の目に見えない世界を担当します。

グレート・スターは私達がここまで来てくれた事を喜んでくれました。そしてグレート・スターを構成するゴッデス達とその働きについて、私達に教えてくれる事となりました。私達の知恵が深まり、理解力が高まるにつれて、目に見えない世界の秘密も少しずつ教えてくれるようです。

今回紹介していただいた、グレート・ゴッデス達は次の5人です。

○グレート・アイク・・・マスター達と共にいて、マスターにとって必要な光を作り出す。

○グレート・エル・・・愛・叡智・喜び・好奇心等を司り、生命達が発展するためのエネルギーを作り出す。

○グレート・リカ・・・母性のエネルギーで女神達の愛情部会エネルギーを生み出す。

○グレート・マナ・・・宇宙の神秘的な働きをつかさどり、星を生み出す中心的な働きを行う

○グレート・エリ・・・宇宙のエネルギーの循環を司り、目に見える世界から見えない世界へとつなぐ。

私達はとても偉大なゴッデス達の働きを教えてください、また共に光をつなぎ、この宇宙のために祈らせていただきました。

私がこのグレート・スターを構成するグレート・ゴッデス達の役割を知り、彼らと深くつながる事によって、私達が、グレート・スターの光をよびだすときに、このゴッデス達の役割や、彼らのパワーも共に呼び出せるようになるとの事で、グレート・スターの光が、さらにパワーアップし多彩な働きをする光に変わるようです。

私達は彼らと深くつながる事によって、創造された目に見える世界と、まだ創造されざる形無き世界の両方の世界で働く事ができます。

また私達を接点として、目に見える光の世界と目に見えない闇の世界が一つに重なり、光と闇の統合された世界が生まだされてくる事になります。

私達が行う行動が、これから目に見える世界と目に見えない世界の両方の世界に大きな影響を与えていく事になりそうです。

## PART4 ザビク星の再生とスタードラゴン

## ○ザビク星の真っ白い宮殿

私達は、グレート・スターとそのゴッデス達との深いつながりを感じながら、ザビク星へと戻ってきました。

星の地表で開いていた、ピンク・ボックスのお蔭で、星の自然も豊かに栄え、星に活力が生まれてきています。

これで星の次元上昇もできそうです。

ザビク星のマザーが、星の地表にあるマザー・クリスタルのもとに案内してくれました。マザー・クリスタルは中央にとっても巨大なマザー・クリスタルがあり、その周りに6個のサブクリスタル、そしてその6個のサブクリスタルをつなぐように無数のクリスタルが配置されています。

私も今までこれほどたくさんのクリスタルを見た事がありません。

マザーは、私に神殿を作ってほしいといいますので、私達はまず、これらのクリスタルを活性化して、星の次元上昇を行ってから神殿を作る事にしました。

私と宇宙の光のメンバーは、中央にあるマザー・クリスタルを取り囲みます。

そして虹のドラゴン騎士団や各騎士団の団長が主要なクリスタルのもとに行きます。

そしてすべての騎士団の団員達も、無数にあるクリスタルのもとに配置します。

1000名を超えるであると思われる騎士団達が、ザビク星のクリスタルと向かい合い光を送ります。

私のハートにあるクリスタルの炎の種や星のしずく、そしてザビク星のクリスタル・ドームにあった生命の種などをすべてのクリ

スタルの中に入れていきます。

全ての騎士団やマスター達が真剣に祈り、クリスタルの中に光を注ぎ込んでいきます。

私達は、ザビク星の上に、創造主達の神聖幾何学を再び描いてもらい、さらにパワフルになったグレート・スター達の光をザビク星に呼び込んでこの星を次元上昇させていきます。

とてもパワーの多きい星なので、私達の騎士団やマスター達も総がかりで星の次元上昇を行います。

やがて、とても大きなエネルギーが渦巻きのように巻き起こり、ザビク星が持ち上げられていきます。

ザビク星が次元上昇してとてもパワフルな星に生まれ変わると、私達はザビク星の神殿を作り始めます。

中央にとっても大きな塔がそびえたっています。

まるで電波塔のようです。

そしてその周りを取り囲むように真っ白い大きな宮殿が次々と出来上がります。

ホビットや魔法使いだけでなく騎士団やマスターも協力して一生懸命宮殿を作っています。

たくさんのクリスタルも宮殿の中庭に配置します。

庭には水路も作り、植物や樹木達もたくさん生えてきて、まるで自然の楽園のようです。白い宮殿は美しい細工で飾られ、見ているだけでもハートに光が満ちてきます。

マザーの願いどおりの神殿が出来上がり、ホワイト・テンプルと名付けられました。

ここでは、この巨大なクリスタル達を利用して星の成長を助けるような仕事が行われる



予定です。

## ○ザビク星の人々

ホワイト・テンプルも出来上がったところで、このザビク星のもともとの住人が隔離されているドームに彼らを迎えに行く事にしました。

ザビク星のマザーが呼びかけると、そのドームから多くの人達が不思議そうな顔をしてたくさん出てきました。

私達が事情を話し、星の凍結が解かれ、ザビク星が再び星の機能を取戻した事を伝えると、皆さん大喜びです。

しかし、私は彼らに一つの条件を出しました。このザビク星が、再び過去の失敗を繰り返さないように、愛と叡智をもって星の活動に参加してもらうために、「愛の結晶」と「叡智の結晶」を自らのハートに入れてもらう事です。

この2つの光を受け入れ、自分の光とした人は、ホワイト・テンプルに入り、星の仕事に携わる事ができますが、この光を受け入れない人は、ホワイト・テンプルに入れない事にしました。

テンプルのすべての出入り口には、虹のドラゴン騎士団を配置し、このテンプルに出入りする人をチェックしてこの星の働きを守ってもらいます。

ザビク星の多くの人達が、私の提案を受け入れ、「愛の結晶」と「叡智の結晶」をハートに納めテンプルに入っていきます。

私は、ザビク星のリーダーを呼び出し話を聞きました。

彼は、今までの事を反省し、「これからは、愛の戦士、光の戦士として生まれ変わり、自分達の尊厳をもって、星の成長をサポートする事を誓います。」と言ってくれました。

グレート・スター達もその場に現れ、彼らが再び、この星でグレート・スターと共に星の新生や成長に関わる仕事をしてくれる事を大変喜んでいました。

ザビクの人達は、グレート・スターによって生み出され、彼と共に働く事が自分達の使命である事を十分に知っているようです。

私達は、このザビク星が再生され、また素晴らしい技術者達が戻ってきてくれた事に大変大きな喜びを感じながら、次の仕事に入る事にしました。

## ○浄化の炎の星 アルヤ星

へび座の尻尾の先にあるアルヤ星に着くと星の地表にはいくつも大きな穴が開いていたり、争いや自然破壊の後もあります。

クリスタル・ドームも暗くて元気がりませんので、私達はクリスタル・ドームの活性から始めました。

グレート・イエスやグレート・マザー、グレート・キングをはじめとするグレート・ゴッデス達と星の創造に深くかかわるグレート・スター達の光をアルヤ星に呼び込みます。クリスタル・ドームの女神も目覚めてきたのですが、元気がありませんので、癒しの女神、癒しの天使達に来てもらい、女神に愛と光を与え元気にしていきます。

女神に話を聞くと、この星では大変な事が行ったようです。

それは、ザビク星を支配した人達が、このアルヤ星までやってきて大きな争いが起こったようです。

星の人々も戦い、自分の星を守ろうとしたようですが、力が及ばず、彼らに侵略されてしまいました。

そのために、星に隕石が落ち、クリスタル・ドームの力が損なわれ星が凍結されたようです。

すでに、侵略に来た人達はいなくなりましたが、私達が来て、この星の凍結が解除される時を長い間待っていたようです。

この星のマザー・クリスタルであるアリエティに、私達はグレート・ゴッデスとグレート・スターの光を注ぎます。

そして、魔法使い達にもこの星の凍結を解き放つようお願いしました。

アルヤ星に生命力が戻ってきましたので、私達は星の地表に出て、恐竜のマスターからもらったピンク・ボックスを開き、この星に生命が豊かに存在できるような環境を生みだします。

このアルヤ星の目的は、ザビク星と連携をとって、星の成長を助けたり生まれてくる生命達にエネルギーを送る事です。

またアルヤ星の大切な働きとしては、宇宙の大きな循環により流れてくるエネルギーが、この尻尾の星であるアルヤ星からへび座に流れ込み、そのエネルギーによって星が作られたり成長させられたりしますので、炎によりエネルギーを浄化する働きがあったようです。

しかし、アルヤ星が争いにより凍結された事により、エネルギーが浄化されないまま、へび座に流れ込んできていたので、へび座のドラゴンや他の星に負担をかける事になってしまいました。

私達は、騎士団やマスター達と共にこのアルヤ星の次元上昇に入ります。

かなり重たい星ですが、何とか次元上昇を行うと、その次元にアルヤ星のマスターが現れました。

あまり元気がなさそうですが、アルヤ星が元の次元に戻ってきた事を知って大喜びしています。

彼は、炎を使ってこのへび座に流れ込んでくるエネルギーの浄化を行っていたようですが、星を守れなかった事をととても後悔しているようです。

おそらく彼一人で孤軍奮闘してきたのでしょう。彼の苦悩と悲しみそして孤独が私達にも伝わってきます。

私はこのアルヤ星の重要な役割を守ってきた彼を慰め元気づけました。

そして、これからはへび座だけでなく天の川銀河の多くの騎士団やマスター達と共に手をつなぎ協力し合いながら進んでいく事を申し出ました。

私達は、へび座に流れ込んでくるエネルギーの浄化と守護のために、アルヤ星のために虹のドラゴン騎士団を10人、またエネルギーの浄化の達人であるブラック・テトラレルも10人ほど、アルヤ星のマスターと共に仕事をするように、新しく生みだしました。

彼らの強力なパワーと能力によって、へび座全体が美しいエネルギーの流れを享受でき

る事でしょう。

## 〇へび座のドラゴンとマザー・クリスタルの統合

これでへび座の頭から尻尾までの主要な星の活性と次元上昇は終了しました。

尻尾の中にあるいくつかの星は、まだ行っていませんが、ここでへび座とへびつかい座を大きく次元上昇させて、へび座のドラゴンと各星のマザー・クリスタルを統合し、へび座本来の力と能力を目覚めさせる事にしたいと思います。

私達は、すべての星のマザー・クリスタルの女神とマスターに呼びかけ、星座全体を次元上昇する準備をしてもらう事にしました。

まだ私達が行っていない尻尾の星達には、テトラエルと虹のドラゴン騎士団を派遣し、マザー・クリスタルをあらかじめ活性させておくように指示を出してあります。

宇宙の偉大な創造主達に手伝ってもらい星座全体の上に神聖幾何学を描きます。

何しろ、天の川銀河最大の星座なので、私が知るすべての創造主、大天使、グレート・ゴッデス達すべてにサポートをお願いしました。

星座の上に複雑な神聖幾何学が描かれ、グレート・ゴッデスとグレート・スター&ゴッデス達の光が、この星座に降り注いでいきます。今回はグレート・ドラゴンの光もさらに強く輝いてきます。

するとへび座の上に、まさにへび座と同じ形

をした巨大なドラゴンが浮かび上がります。私は、さらにグレート・ユニバースと呼ばれるこの宇宙の最高次元のマスターの光をおろしていきます。

すると、各星からマザー・クリスタルの女神達が、すーと上空に立ち上り、へび座の巨大ドラゴンの中に吸い込まれていきます。

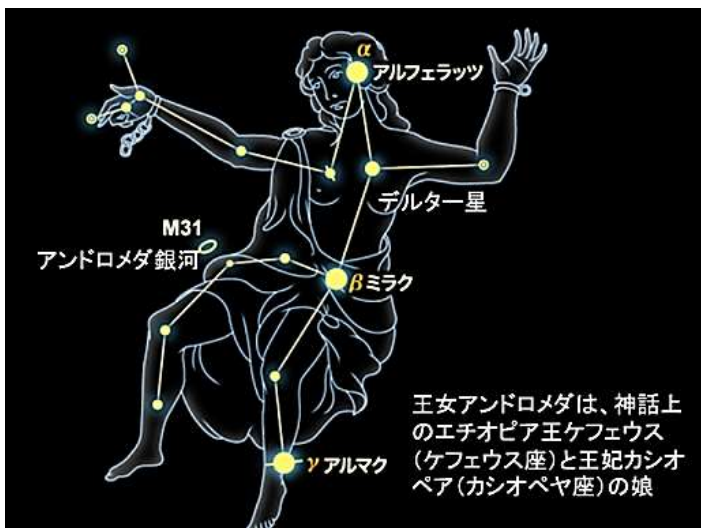
へび座の巨大ドラゴンとへび座、へびつかい座のマザー・クリスタルが一つに統合され、さらにへび座とへびつかい座全体が一つの働きのもとに統合されていきます。

これで、へび座とへびつかい座は今まで以上の高い次元に位置し、今まで以上の働きを行ってくれる事でしょう。

## 第3章 星の光を統合する星

### 座 アンドロメダ座

#### PART 1 アンドロメダ星—宇宙の創造に関わる光の通路



#### ○アンドロメダ座の入り口 アルマク星

アンドロメダ座へは、地球からのアンドロメダ星への通路を通り、アルマク星に降り立ちます。

アルマク星は高い山や森、湖に囲まれた、自然豊かな星で、水や大気があり、自由に呼吸できる様子です

ここに住む人は、半透明のフェアリーのような姿をしています。

私達を、このアルマクで迎えてくれたのは、サナンダ様、かつてイエス・キリストとして、地球に生まれた事がある方です。

このアルマクの山の上にクリスタルの神殿があり、ここが光の通路のゲートとして機能するようです。

アルマクのクリスタルの神殿には、この通路を利用して行き来する人のために、クリスタルによる「魂の浄化」も行われています。

部屋の中央にあるクリスタルの周りをみんなですんで、祈りを捧げます。

すると素晴らしい光が、私達を包み私達の魂と心を癒してくれます。

このクリスタルの神殿を出ると、岩場を抜け、森に入ります。

森の奥には湖があって、その湖の中に潜ると、そこには水の神殿がありました。

多くのマーメイド達が、その神殿にいます。地球にも、この星から多くのマーメイド達がやってきたそうです

この水の神殿の目的は、女性性を輝かせ、傷ついた女性性を癒す事です。

清らかな流れの中に身を浸し、自分の傷ついた過去の記憶や、過去生での悲しい思い出などを癒す事ができます。

マーメイドのマスターから、「女性である事の喜びを思い出してください。子宮と星はつながっています。」とメッセージをいただきました。

## ○光の都市を持つミラク星

水の神殿を後にして歩いていくと、アルマク星からミラク星へと移る通路があります。

それは、風に象徴されるような透明のチューブに入り、空間を上がると、広いヘリコプターポートのような所に出ます。

私達が、そこで待っていると宇宙船のようなものが降りてきて乗り込みます。



宇宙船は、空間だけでなく次元も上昇していくようです。

次についたのは、シャスタ山のような雪を抱いた山のふもとに広がる「光の都市 シャンバラ」のような世界です。

そこには多くの叡智ある存在が暮らし、高度な科学技術に基づいて生活しているとの事です。

残念ながら、その内部に関しては、見る事ができませんでしたが、地球のシャンバラのもととなる都市だそうです

私達の波動がもっと上がってきたら見せてもらえるそうです。

またミラク星には、黄金色に輝く「宇宙の叡智の図書館」もあり、イシス様が統治されていました。

黄金色に輝く高い塔に囲まれた世界は荘厳であり、宇宙の秘密を表す本が所狭しと並べてあります。

私達はここで、宇宙の叡智が自由に読めるように、私達のハートとこの世界を繋いでもらいました。

この時は、女神イシス様と私達の間には、黄金色の光りが、レーザービームのようにつながり、イシス様をとおして、宇宙の叡智が私達の中に流れこんできたようでした。

私達は、その後とても大きな本や、エジプトの十字架（アネク）などをいただきました。ただし、いただいた本は、まだ私達が読めるレベルのものではありません。

しかし、後になってその本の大切な意味が明らかにされる事になります。

## ○宇宙の創造が行われるアルフェラッツ星

ミラクの黄金の図書館を出ると、そこには、銀河鉄道のような乗り物があります。

私達は、この乗り物にのって、どんどん上の世界に上がっていきます。

するとついたのは天空の城「ラピュタ」のような世界。ペルーのマチュピチュにも似ています。

この星では、天界の非常に波動の高い人達が集まって、会議や宇宙の創造にかかわる仕事をしています。

主に、宇宙や星の創造、星の配置や星に生きる生命の誕生や育成、

宇宙のエネルギーのバランスをとる事、光と闇の働きを統制する事などを行っており、創造主のグループと各惑星の偉大なるマスター達によって運営されています。

この場所の波動はとても高く、私達は全員シエンロンの中に入って、その会議室(研究所)に入っていきます。

すると驚いた事に、その中にいる人達はとても大きく、私達は豆粒のように見えます

私が以前、ヴィジョンで見た創造主の姿もそうでした。私達は、はるかに小さい存在です。それでも、そこにいたマスターは、私達の事に気づくと丁寧に話しかけてきてくれました。

ここで行われている事は、まさに「宇宙の創造」の領域に関する事であり創造主の意志のもとに、この宇宙のマスター達が力を合わせて行っている尊い作業であるという事です。とても恐れを多いところに来たものだと、思

いつつも、ここで私達にできる事はありますかとたずねました。

さすがに、このような尊いお仕事をされている方達に対して、私達をパワーアップしてくれなんて頼めません（笑）

するとマスターは、ここで地球のために祈ってくださいとおっしゃいました。

私達は、ここで気持ちを一つにして、地球と宇宙のために祈らせていただきました。

この創造主&マスターの会議室を後にして、どこに行こうかと考えていました。

アルフェラッ星に来たとき、この会議室のほかに、癒しの場所への通路があるとお伺いしていたので、私達は、その通路を使って、癒しの場所に行く事にしました。

その通路は、丁度プールにある水の滑り台のような感じでした。

丸いチューブの中を水が流れ、私達はくるくると回りながら、ザブーンと水の中に入りました。

その通路は、最初に来たアルマクの水の神殿へと続いていたのです。

きっと偉大なマスター達も、仕事に疲れたら、この水の滑り台を下って水の神殿に降り、疲れを癒していらっしゃるようです。少しお茶目です。

私達は再度、水の神殿で癒してもらい、汗を流しました

あまりにも高い波動の所に行ったので、メンバー全員汗びっしょりだったようです

そして、アルマクの光の通路があるクリスタルの神殿へと戻りました。

## ○アマルク星から光の通路を設置

アマルク星のクリスタルの神殿に着くと、今度来た時のために、宇宙飛行船などを使用しなくてもシエンロンで直接、ミラク星やアルフェラッツ星に行けるように光の通路を設置させていただきました。

この通路を作る時は、TAKESHI のハートと相手のマスターのハートを繋ぐと青い光のビームが2人の間を高速で移動し、私のハートに、相手からの情報がダウンロードされます。

それが光の通路の設計図のようなものです。その設計図に基づいて、シエンロン達が光の通路をつくりあげていきます。

今回は地球から、アンドロメダ座のアマルクまでは光の通路ができていたので、アマルクから、ミラクとアマルクからアルフェラッツへと光の通路を作らせていただきました。この光の通路を作る時は、皆さんのシエンロン達が協力して皆で作り上げていきます。

私達は、地球に帰る事にしましたが、最後に、私達が他に行くところはありませんかとお尋ねしました。

そうするとサナンダ様は、もう1箇所「ラムダ星」に行ってほしいといわれました。

私達は、このアンドロメダ座でも端の方にあるラムダ星が、何の意味を持っているのか、不思議に思いつつ光の通路を作りました。

そしてこのラムダ星で驚愕の事実が明かされる事になりました。

## PART2 アンドロメダから金星、そして地球への光のライン

### ○アンドロメダの高次元の光を変換させる星 ラムダ星

ラムダ星に着くと、そこは堅い扉で通路が閉ざされていました。今までにない事です。この扉に特殊な六芒星を描く事で、この扉を開く事ができました。

その扉の中に入ると、細い通路があり、その奥にマスターがいます。

ラムダ星自体は、多くの存在が住んでいるような雰囲気はありません

マスターにご挨拶を行い、名前を伺うと「サナート・クマラ」様である事がわかりました。サナート様といえば、金星のマスターで、私達ともなじみの深い方です

確かに金星のサナート様とはよく似ていますが、少し雰囲気が異なります。

ラムダ星のサナート様がいう事には、サナート様はもともと、ベガの星のマスターですので、どの星の人達よりも地球人に近い存在です。

金星のサナート様とこのラムダ星のサナート様は、同じスピリットから生まれた存在で、強い意識で結ばれて、ともに共同行動をとられるようです。

このラムダ星の目的は、アンドロメダ星の高い波動に基づく叡智を他の星の人達が理解し活用できるように、その波動を調整する事です。

そして調整された波動に基づく叡智は、金星におくられ、そこでさらに波動調整がおこなわれ、地球におくられるという事でした。

何かこの宇宙の大きな仕組みが一つ理解できました。

金星のマスターであるサナート・クマラ様が、金星から地球に降り立ち、地球人の意識進化を行った話は非常に有名です。

そのサナート様の叡智の源は、このアンドロメダとご自分の星であるベガ星にあるという事です。

アンドロメダは、宇宙の生命の創造や進化に深く関わっています。

そしてベガは、もっと人間よりの立場で人間の意識や感情をとおして、人間を進化させてきました。

その接合点の働きをしているのが、このラムダ星のサナート・クマラ様だという事です。金星のサナート様とサナンダ様（イエス）様の関係もとても深く、この地球では、共同で私達人類の意識進化のために働いてくれています。

もともとはこのアンドロメダの叡智と愛そのものであるサナンダ様と、アンドロメダの叡智と愛を地球の人類にわかりやすく教えるサナート・クマラ様は、まさに一つの目的のために、役割を分担しながら活動している事がよく理解できました。

となれば、次の仕事は、このアンドロメダ座のラムダ星から、まず太陽系の金星に、光の通路を作る事です。

多くのシエンロン達を呼び寄せて、光の通路の建設が始まりました。

○アンドロメダの叡智と地球の仲立をおこなう金星

ラムダ星から金星はとても遠いので、クリスタルなどの素材と光を使って光の通路を作りました

この星と星を繋ぐためには、クリスタルの力が必要なので、TAKESHIの部屋は幾つもの巨大クリスタルが準備されています。

不思議な事に、私達の活動が広がるにつれ、よりパワフルなクリスタルが私のもとに集まってきます。

金星との通路ができると、私達はその通路を使用して、金星へと降り立ちました

金星では、金星のサナート・クマラ様とヴェナス様がお待ちになって、私達を歓迎してくれました。

以前この光の通路は、十分に活用されていたのですが、ある時に、この光の通路は損傷し、その機能が果たせなくなっていたそうです。それと共に金星のパワーも弱まり、惑星としての意識に陰りが出てきたそうです。

私達が、アンドロメダ—ラムダ星—金星の光の通路を作った事で、また再び金星にもアンドロメダ星の光りと叡智が流れ込み、再び金星の意識も活性化するという事らしいです。この後、金星のスピリチュアルな世界も見せていただきました。

金星には地表にはもう叡智を持つ存在はいないようですが、金星の地下にはそのような存在がまだいらっしゃるようです。

地下に向かう大きな扉が現れましたが、硬く閉ざされています。

マスター達は、このような形で、私達がこの扉を開いて、その星のスピリチュアルな世界に入る資格があるかどうかを試します。

私達が、その扉を開く事ができないと、その

世界に入る資格がないとみなされるのです。私達は、この扉に対して、サナート様のもう一つの名前を呼ぶ事によって、その扉を開く事ができました。

そこに開かれたのは、まさにシャンバラのような地下帝国です。

アンドロメダ座のミラク星にも、同じようなシャンバラがありました。

そして地球にも、シャンバラがあり、これらの3つのシャンバラは、宇宙の叡智を保ち活用する場所としてつながっているようです。

この金星のシャンバラでは、これからの地球のあり方や、地球で行う事、闇の勢力に対抗する方法なども話合われているようです。パトリス様達の銀河連合とも深い関係があるようです。

## ○ビーナス・レイ&サナート・レイによる光の強化

私達はここで、地球と金星、そしてアンドロメダの光りに通路をさらに強化するために、サナート様とビーナス様をお願いして、お2人の光のパワーをいただく事にしました。今回のツアーに参加したメンバー1人1人に、サナート様とビーナス様の光を統合していきます。

するとメンバーとそのシエンロンも黄金色に輝き始め、パワーアップしていきます。皆さん、体が熱くて汗を流しているようですね

そして全員がサナート様とビーナス様による光の統合を受けると、パワーアップしたシ



エンロン達にお願いして、金星と地球の間に光の通路を作る事になりました。

光りの通路は、以前一度開いてありますが、今回はさらに力強く多くの光りが届けられるように強固な通路が建設されます。

地球からも仲間のシエンロン達が数多くやってきて、ガイアの神殿にその通路を開きました。

これで、アンドロメダ—ラムダ星—金星—地球という光の通路が完成しました。

そこで私達は、開通を祝って、この地球から、一気にアンドロメダに駆け上り、アルフェラッツ星を目指しました。

すると本当にとっても速いスピードでアンドロメダのアルフェラッツ星まで到達しました。

これで、アンドロメダラインは完成です

## PART 3 再びアンドロメダ座へ

2014年2月

### ○アンドロメダ座の騎士団と星の再生

私達は、久しぶりにアンドロメダ座にやってきました。

前回とは全く能力も役目も異なっていますので、アンドロメダ座のさらなる秘密を知り、問題の解決もできるはずです。

今回は、アンドロメダ座と神話上のアンドロメダ姫のお母さんのカシオペア座、お父さんおケフェウス座、そしてアンドロメダ姫を助け、妻としたペルセウスの星座を回ってみるつもりです。

アンドロメダ座からは、地球の波動の悪化に

よって様々な問題が起きていると連絡が来ていましたので心配です。

まずはアンドロメダ座の入り口であるアルマク星へと入りました。

私達は、ミラク星に叡智の図書館を持つイシス様を呼び出しました。

イシス様にアンドロメダ座の役割をお聞きすると、アンドロメダ座は天の川銀河においては主導的な役割を果たしており、他の星々と連動して光を統合したり、特定の星に光を送る事が役割のようです。

現在は地球に対して、大切な光を送っていますが、地球から逆に伝わってくるネガティブな波動によって、アンドロメダ座のエネルギーそのものが乱され、バランスを崩してしまっただけです。

特に地球に送る光を調整するデルター一星に大きな問題が生じているようです。

私に課せられた仕事は、その事を解決し、昔のアンドロメダ座に戻す事でした。

私はイシス様にアンドロメダ座には騎士団がいるのかと尋ねました、するとすぐに「アル」と名乗るアンドロメダ座の騎士団の団長が現れました。

「アンドロメダ座」の騎士団は、いくつかの星に存在しているようです。彼等は、今回の問題を解決するために、私達が来る事をずっと待っていたようです。

彼等は、デルタ星とその隣の星に問題が起きているが、私と一緒になければ、それらの星に入れないので、私が来たら一緒に働く事になっていたようです。

私はまず、アンドロメダ座全体に光を送り、星座ごと次元上昇を行うために、創造主達を

呼び出しました。

そして、アンドロメダ座に神聖幾何学を描いてもらい星座の次元上昇に入ります。

私達は、星の次元上昇をおこなうために、それぞれの星の地下にあるクリスタル・ドームに入りました。

このクリスタル・ドームには巨大なマザー・クリスタルと共に惑星意識である女神達がいる、その状態を見れば、その星がどのような状態かすぐにわかります。

最初のアルマク星、そしてイシスのミラク星のクリスタル・ドームはきれいでさほど問題がありません。

私は、自分のハートの中から、クリスタルの炎の種を取り出して、マザー・クリスタルに差し上げました。

するとマザー・クリスタルは、さらにいっそう輝き元気になっていきました。

ところが、問題があるデルタ星に入った時、大変不思議な感じがしました。

星がとても機械的な感じがするので、すぐにマスターAを呼んで、この星はあなた達で作った星型宇宙船ではないですかと聞きました。

マスターAも笑って、「そうですよ、この星は、星々の光を統合して他の星に送るために人工的に作られた星です。」

そういえば、以前このデルタ星に来たとき大きな扉があって、その扉をぬけて細い通路をずっと進んでいったような記憶があります。それは宇宙船の通路だったのですね。

私はこの星の修理と調整をマスターAにお願いしました。

## ○アルフェラッツ星に隠された種

私達はデルタ星から、創造主がいるアルフェラッツ星へと移動しました。

アルフェラッツ星は霧でかすんでいるように見え、なにかはっきりとしません。

考えてみれば、私達が初めて会った創造主は、このアルフェラッツ星の創造主でした。

その時は、創造主に比べて私達はとても小さく、まるで豆粒のような存在に感じられたものでした。

創造主は私達の再開と成長をととても喜んで迎えてくれました。

そして私達に大切な話をしてくれました。

「このアルフェラッツ星は、アンドロメダ座の中でも中心的な星ですが、地球の波動の影響により、星としてのエネルギーの循環が悪くなってしまった。

地球というのは、この宇宙にとって特別な星で宇宙の大切な鍵そのものです。地球がどうあるかによってこれからの宇宙の様子が大きく変わる事もありますので、もっと地球を大切にするとともに、このようなところまで地球の悪い波動がやってきている事を知ってください。」

私達は、グレート・イエス様達と相談して、地球の波動の影響を受けないように、大きなシールドを張り、このアンドロメダ座を守る事にしました。

そして、アルフェラッツの創造主は、扉の向こうに隠されていた箱を持っていくように言われました。

その箱の中には、地球のエネルギーを浄化するための「種」が入っていました。

その種は、地球のエネルギーと深く関連しており、その種を増やして地球の各地に蒔き、お水をたくさんあげて育てる事で、地球の大気中にある大気汚染やネガティブなエネルギーを浄化する事ができるようです。

私達は、喜んでその種を預からせてもらいました。

## ○創造主の光のフロアーで祈る

そして、私達はアンドロメダ座のために祈る事を、創造主に伝えました。

すると創造主達は、私達をアルフェラッツ星のさらなる上の次元の世界に連れて行ってくれました。

そこはとても次元の高い、光輝くフロアーのように見えます。

アルフェラッツの創造主以外にも数人のマスター達の姿が見えます。

ここはどこですかと、私がアルフェラッツの創造主に尋ねると、「ここは天の川銀河の創造主が集まる場所です」と彼は答えました。創造主達が、他の星の創造主と交流したり、情報交換を行う場所のようです。

わたしはおそらくこのような次元があるだろうと、思っていました。が、思わぬところでその次元に入る事ができました。

私は、「天の川銀河連合」の構想を、天の川銀河の創造主達と話をしていまして、またこのような場所があれば、彼らにもより高次元の光を導いてあげる事も可能になります。

私は、アルフェラッツの創造主と共に天の川

銀河の創造主達に集ってもらい、天の川銀河連合の話をしました。

お互いの騎士団が協力して助け合い、また女神やマスター達がさらに高い次元の知恵を学び合う事ができれば、創造主達ももっと素晴らしい星々を作る事ができます。

集まった創造主の中には、北極星の創造主やペテルギウスの創造主、南十字星の創造主、そして大熊座の創造主、くじら座の創造主など、すでに私達の活動によって、助けられた創造主達もたくさんいて、皆さん私の話にうなずいています。

これで、創造主の皆さんとも話ができましたので安心です。

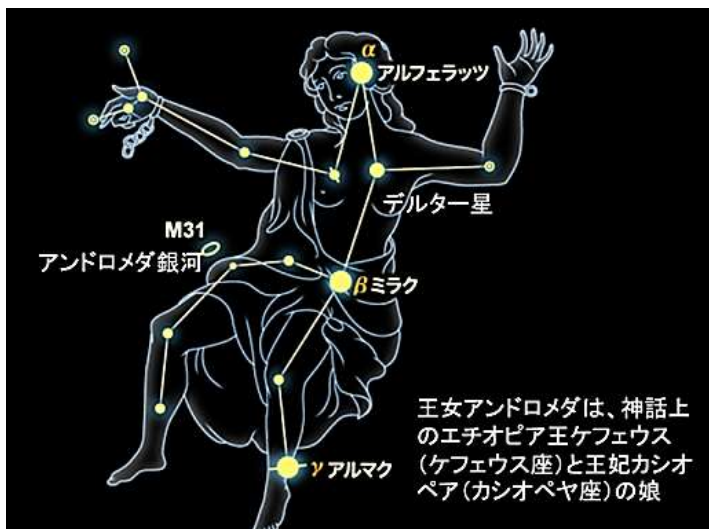
私は、創造主の皆さんのために、さらに上位の創造主に神聖幾何学を描いてもらい、グレート・イエス様、グレート・マリア様、グレート・マザー様達の光をこの創造主のフロアーに導き、創造主と彼らが治める星域へと光をつないでもらいました。

ここで光を導く事によって天の川銀河のすべての星域に、偉大な光を導く事ができます。

私達はその光を、アルフェラッツ星へと導きました。

アルフェラッツ星の霧も少し晴れてきましたので、マスターA達にお願いして、地球のネガティブなエネルギーがこのアンドロメダ座に入り込まないように、シールドを張ってもらいました。

## PART 4 ネガティブなエネルギーを光に変える



この星のクリスタル・ドームに入ると確かに暗く全く元気がありません。

私達は、クリスタルの光の種を、マザー・クリスタルに入れ光を送りました。

力を失い半透明になった女神を癒し、シャイナイダーと呼ばれるクリスタルを活性し、地上に光を送ってもらいます。

地上にあるマザー・クリスタルも損傷しているようなので、ホビットと騎士団達に修復してもらいクリスタルの神殿を作ってもらいました。

そうしているうちに湖から一人のマスターが現れました。

マスターが語るには、「この星に、地球からのネガティブなエネルギーが突然やってくると、星のエネルギーがおかしくなり、星の動きに大きな障害が出るとともに、地殻変動が起こりマザー・クリスタル達にも影響が出てしまったようです。

自分は、星の振動(地震)が起こったために、クリスタルと共に湖に隠れました。」

どうやら、ある時、アンドロメダ座に空間の狭間ができ、そこから地球のネガティブなエ

エネルギーが入ってきたようです。

しかし、それは地球の人達というよりも、どうやら地球の人達の欲望と一つになったレプテリアンの意識のようです。

その複合的なエネルギーが、離れた場所から、アンドロメダ座にエネルギー的な攻撃を行い、デルタ星とこの星のつながりを分断したようです。

この星は、デルタ星と協力して、アンドロメダ座の光を地球に送る役目をしていました。もしかしたら、地球にアンドロメダ座の光を遅らせたくなかったのかもしれない。

私達はこの星を浄化して、創造主達の光をもたらし、この星の働きを正常にし、デルタ星との関係を修復する事ができました。

これで、今まで通り、アンドロメダ座の光が地上に送られる事になると思います。

私達は、この後地球に戻り、アルフェラッツの創造主から頂いた浄化の種を、魔法使いにお願いして、この地球にたくさん蒔き、雨を降らしてもらいました。

地球のエネルギーが少しでも浄化され美しくなるように祈りを込めて。

## ○レプテリアンの対処法—ケンタウルス座にて

私は、レプテリアンに対する対処法について多くのマスター達と話をしているときに、ケンタウルス座においてまさにレプテリアンの一部と遭遇する事になりました。

これは、私がメンバー達と共に行く星のツアーとは別に、「天の川銀河連合」の組織作りのために、個別に星を回っていた時の事です。



ケンタウルス座の騎士団から、ぜひケンタウルスに来てくれという申し出がありましたので、ケンタウルス座に行くと、ちょうどケンタウルス座のおなかのあたりにあるバーダン星のあたりにネガティブなエネルギーがあり、その影響によって、吹雪が星全体を吹き荒れ、見に見えない力によって各所で竜巻も起こっています。

魔法使いにその様子を聞くと、どうやら次元の裂け目からこの星にエネルギー体として侵入してきた存在達の仕業のようです。

おそらくヘラクレス座やアンドロメダ座を攻撃し、また地球にも入り込んでいるレプテリアンと呼ばれる存在のようです。

私は、すぐに光のマカバをこの星に作り、エネルギーの裂け目を、覆い隠すようにして光をこの星に集めます。

私は以前、この存在に対しての有効な対処法として、オレンジ色の光をグレート・イエス様からいただき、彼らの力を弱める能力を与えられました。今回はレプテリアンそのものをこの星から取り除かなければ、ならないようです。

グレート・イエス様をはじめ、多くの創造主やマスターに尋ねましたが、解決策は見つかりません。

しかしグレート・オニキス様が、大切な事を教えてくれました。

それは、テトやテトリスにそのエネルギー（レプテリアン）を吸い込ませ、彼らが元いた場所に送り返すという方法でした。

私は、とても喜びました。

もしその方法でレプテリアン達を、これらの星から取り除けるのであれば、だれも傷つけ

ずに安全に、私達の目的を果たす事ができます。

彼らが来た場所を宇宙の魔法使いに探してもらいました。

それは、宇宙のある場所で普通の存在がいく事ができない暗黒の場所であるという事です。

私は、光のマカバの一部に出口を作り、そこに侵入者が集まるように仕掛けました。

そしてテトとテトリス達にそこで待ってもらい、やってきたエネルギーをおなか一杯仕込んでもらいました。

テト達のおなかかどんどん大きくなります。この子達はとても特殊な能力を持っていて、小さな星レベルあれば、そのエネルギーを自分達の体に吸い込んで、ほかの場所に送ったり、保存したりする事ができるのです。

テト達は、レプテリアンのエネルギーをどんどん吸い込んでいきます。

そしておなかの中で、レプテリアンのエネルギーと、レプテリアンが吸い込んだバーダン星のエネルギーを区別して、バーダン星のエネルギーは、自分の体の外に放出しています。

しばらくして、その作業が終わると、テト達はレプテリアンのエネルギーを、彼らが元いた場所に戻していきました。

私達もケンタウルス達も、この素晴らしい仕事に感動しています。

さて次は、このバーダン星の復活を行わなければなりません。

私達が、バーダン星のクリスタル・ドームの中に入ると、おびえた様子の女神がいます。

彼らのエネルギーがクリスタル・ドームの中の女神に不安と恐怖を与え、その感情が星全体に広がっていたようです。

私達は、女神にレプテリアン達を取り除いた事を伝え、クリスタル・ドームにクリスタルの光の種を与えました。

そして騎士団達と共にバーダン星に光を送りました。

しかし気になるところがもう一つあります。私達が以前来た時に地殻変動をおこし、ケンタウルス達が逃げ惑っていたムリファイン星です。

ケンタウルスに聞くと、だいぶ星の状況はよくなったようですが、まだ星が活性していないとの事です。

私達はムリファイン星のクリスタル・ドームに入りました。

すると、女神が意識を失ったままドームの中で倒れています。

すぐにアスクレピオス様に来てもらい様子を見てもらおうと、非常に危険な状態なので、すぐにアスクレピオス様の癒しの神殿に運ぶ事となりました。

どうやら、私達が最初に来た時に起こっていた地殻変動は、このバーダン星にいたレプテリアン達の働きによるもののようです。

私達が、この星から、すべてのケンタウルスを他の星に移し、女神も気を失ってクリスタル・ドームの働きが停止した事により、この星を出てバーダン星へと移っていったようです。

私達は、テトとテトリスにお願いして、この星に残っているレプテリアンのエネルギーを送り返してもらい、この星の浄化と、ケン

タウルス座全体の次元上昇を行い増した。

そして戦いに傷つき、数がとても少なくなったケンタウルスのために新しい種族を生み出す事としました。

ケンタウルスと大天使ミカエル、大天使アズナエル、そして私の遺伝子を持つ光の天使ケンタウルの誕生です。

形はケンタウルスですが、背中に立派な羽をもち、大天使ミカエルのパワーと愛、そしてアズナエルの叡智、私の次元を自由に移動できる能力等を持ちあわせた素晴らしいケンタウル騎士団が生まれました。

またテトリス達も今後の事を考えて、さらなる新人種を10人ほど生み出しました。

私とアリアドーネにくわえて大天使ミカエルのパワーと闇に対する抵抗力を持つ新人種です。彼らのさなかにも羽とういうか大きな尻尾が生えています。彼等はずっとキツネリスなものですから・・・

翌日、私はグレート・イエスからレプテリアンにたいして大切な話を聞きました。

それはレプテリアン自体には、善も悪もなく、彼らを利用して人々を支配したり、他の星を侵略したいという人々の意識を反映しているにすぎない事、闇には闇の正義があり、レプテリアンにすれば、それらの人々の願いをかなえるために行動する事が正義であるという事です。

私達と、他の人々を支配しようとする人とは、考え方も立場も異なるので、レプテリアンを脅威に感じるかもしれないが、彼らもクラシャー連合と同じように、存在する目的も、存在する価値もある存在である事を知らさ

れました。

大切なのは、レプテリアンをどうするかではなく、レプテリアンとつながる意識を変えていく事、存在するすべての人が善良なる意識で生きていくようにする事であると学ばされました。

私に中にあるレプテリアンへの恐れが、彼らに力を与え、彼らの働きを活発にするという事、彼らの中にも光をもたらし、彼ら自身を光に変えていく事も考えるようにとの事でした。

私にとっても大変な課題が一つ生まれました。

## ○アンドロメダ座のスタードラゴン

後日、アンドロメダ座に行く機会がありましたので、アンドロメダ座にスタードラゴンがいないか、マスターにお聞きしました。

マスターは、アンドロメダ座のドラゴンが、まだ目覚めていない事を私に伝えて来ましたので、私は、騎士団を呼び、アンドロメダ座のさらなる次元上昇を行いドラゴンを目覚めさせる事にしました。

キラク星のクリスタル・ドームに入り、スタードラゴンを呼び出しました。

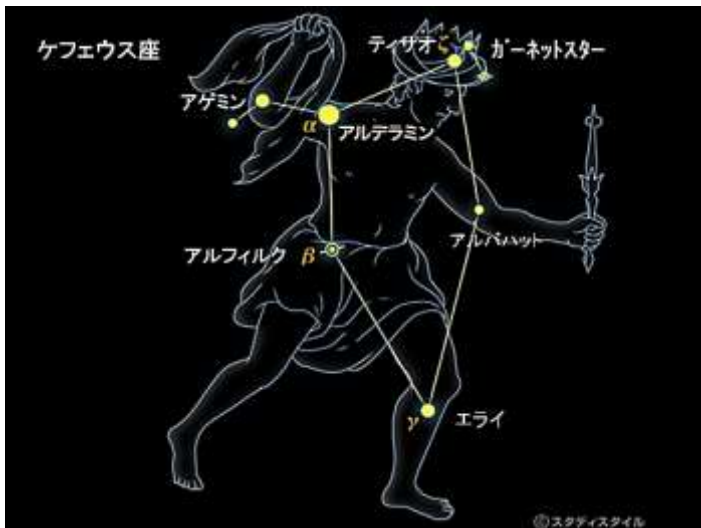
アンドロメダ座の上空に浮かび上がったドラゴンは、美しい色をしていて、各星の女神達は、そのドラゴンに吸い込まれるようにして統合されていきます。

これで、アンドロメダ座のドラゴンもしっかりと目覚め、活動を再開できるようです。

## 第4章 星を作り育てる星座

### カシオペア座

#### PART1 ケフェウス座の嘆き



#### ○アルデラミン星のマスターと大天使ザドキエル

私達は、アンドロメダ座を終了し、問題のカシオペア座に入るために、偵察隊をカシオペア座に送り込みました。

しばらくして、私達がカシオペア座のカフ星の上に行くと偵察隊が困り顔で、とても中に入れる状態ではない事をつたえてきました。

星座全体が大きく次元降下をしているうえに、何とも理解しがたいネガティブなエネルギーに満ち溢れているとの事です。

私は、困りましたが、今日はカシオペア座をあきらめ、先にケフェウス座に行く事により、そこからカシオペア座に入る糸口を見つけようと思います。

次に偵察隊をケフェウス座に送り込みました。

偵察隊が星座を調べている間に、私達はアルデラミン星へと降り立ちました。

このアルデラミン星へは、白鳥の六芒星の時に一度来た事があり、大天使ザドキエル様から、とても大切な癒しの光をいただいた事があります。

アルデラミン星に降り立つと周りは緑豊かな自然もあり、美しい星に見えます。

さっそくマスターと大天使ザドキエル様に来てもらいました。

マスターから、この星やケフェウス座の事を尋ねると、ケフェウス座はカシオペア座の影響を受け、目に見えない波動によって星の自然を破壊したり、人びとにネガティブな意識を持たせたりしている事が分かりました。

このアルデラミン星はまだよいようですが、他の星は、星同士の通路が遮断され星のつながりが壊されたりもしているようです。

しばらくすると偵察隊が戻ってきましたので、様子をうかがうと、ケフェウス座の頭にある星はとても重要な星ですが、かなり問題があるようです。

そしてアルフィルク星は、かつて叡智ある存在が住んでいたが、今は跡形もなく破壊されているようです。

後の星は、叡智ある存在もいないようです。問題はケフェウス座の頭にある星とアルフィルク星である事が分かりました。

大天使ザドキエルも、この星に住んでいる人達の意識を高め次元を上げていきたいといっています。

私達は、最初にこのアルデラミン星の次元を上げるために、光のマカバを作り、マスター

と魔法使い、そして騎士団達に星の次元上昇の準備を整え、光を送るように指示しました。創造主達に神聖幾何学を描いてもらい、創造主達の光をケフェウス座に呼び込みます。

私達は、この星のクリスタル・ドームに入ります。

クリスタル・ドームの中央には、大きなクリスタルの中に女神がいるように見えます。

私達が、クリスタルの炎の種をクリスタルに入れ光を送ると、クリスタルの中の女神が目覚めてくるようです。

どうやら、この星は、一時期、大きなネガティブなエネルギーを受けて、星の活動を凍結していたようです。

それが今、創造主達の光を受け取り、長い眠りから目覚めてきたようです。

私はこのアルデラミン星を自然豊かな星に変えるために、恐竜のマスターからもらったピンク・ボックスを使用します。

これは星を新しく生まれた状態から、星の進化の過程を一気にたどり、生命達が存在するにふさわしい環境の状態の星にするための、特別な魔法の箱です。

このピンク・ボックスを開く事でアルデラミン星を緑豊かな星へと変えていきます。

## ○ケフェウスザの頭に当たるティサオ星

私達はケフェウス座の頭のところにあたるティサオ星へと向かいました。

ここは星の生命力もなく静かな星の様に見えます。私達はすぐにクリスタル・ドームに入ります。

クリスタル・ドームは輝きがなく、とても暗



い状態です。

おそらく女神も力なく眠りにについているのか、私達が呼びかけても元気がありません。私達は、クリスタル・ドームをいつものように活性化して女神を元気づけます。

星の地表に出ても、星の生命力があまり感じられませんし、自然も豊かではないようなので、私達はここでも、恐竜のマスターからもらったピンク・ボックスを使用して、この星が生命豊かな星に変わるように祈りました。

ピンク・ボックスのエネルギーがどんどん開かれていくと、星の上に植物が生れ、ちいさな生物達が現れ始めました。

植物達は少しずつ大きくなり、花を咲かせます。動物達も瞬時のうちにより高等な動物へと移り変わるようです。

大きな恐竜が大地を歩き、龍が大空を舞います。

星の生態系が少しずつ整い、星は緑豊かで生命が育つには十分な星と変わっていきます。このピンク・ボックスは、星が生まれて生命が育つ生態系が出来上がるまでのエネルギーを時間と共に凝縮した魔法の箱なのです。

この星にも、自然が戻り、星のエネルギーの凍結から星が目覚めると、この星特有の鳥や生命体達が戻ってくるようです。

そして、この星を守っていたマスター達も目を覚ましてきました。

おそらく、この星が本当に目覚めるためには、もう少し時間が必要でしょう。

私達は、次の星に移る事にしました。

## ○宇宙の叡智が失われたアルフィルク星

私達は、アルフィルク星へと降り立ちました。偵察隊の報告によると、叡智ある存在がいた痕跡はあるのですが、今は姿形も見えません。クリスタル・ドームに入ってみても、生気がなくクリスタル・ドームの女神も眠っているようで、呼びかけても応答がありません。

私達は、マザー・クリスタルに炎の種を入れ、生命のしずくやクリスタルの活性のための光を入れます。

創造主達に光を送ってもらい、グレート・マザー達の光を、この星に呼びかけますが、クリスタル・ドームが輝きません。

ようやく女神が目覚めてきましたので、話を聞いてみました。

この星はかつては高度な叡智を持つ生命達がたくさんいました。ケフェウス座のほかの星からも、優秀な人材がたくさん集められ、宇宙工学や自然エネルギーの利用などに関して素晴らしい研究を行い、星の再生や人の意識を高めて星の次元上昇を行う方法なども開発されていました。

しかしながら、この星の人達は少しずつ、自分達が進む方向を見失ってしまい、その技術や叡智も歪んだものになってしまいました。そのようなときに、さらにカシオペア座から送られてきたエネルギーによって、自分達の目的を見失い、間違った方向に進んでしまったために、隕石が星に落ちてきて、大気の状態が大きく変わったり、地殻変動が起こってしまい人々は滅んでしまったのです。

きっと、このまま進むと、ほかの星々に悪い影響を及ぼす可能性があったために、神々の

制裁として隕石が落とされたのだと思います。

女神は悲しそうに語ります。

そのためか、この星は私達がいくら祈っても、次元上昇がおきません。

グレート・イエス様に尋ねると、この星の次元上昇にはまだ時間が必要だという事で、私達は、この星の生命力の回復を待つ事にしました。

その後、私達はエライ星を訪れました。

ここには叡智ある存在はいないようですが、ケフェウス座全体を次元上昇させるためには必要な星です。

私達は、星のクリスタル・ドームに入り、マザー・クリスタルとクリスタル・ドームに光を与え、次元上昇していきます。

その後ケフェウス座全体の次元上昇に移ります。

今回はアルフィルク星を残して、ケフェウス座全体を次元上昇させ、さらに光のマカバでケフェウス座全体を囲み、カシオペア座のエネルギーから防御して、次に備える事にしました。

## ○ケフェウス座の創造主の慟哭

その後私達は、星座が次元上昇していく先に創造主の姿が見え隠れする事に気づきましたが、創造主は星が次元上昇していく事に対して、協力的ではありません。

何か困ったような顔をして、私達が行う事をじっと見えています。

どうしたのだろうと思い、私は創造主を呼び

出しました。

初めて会う創造主のようで、先日創造主のフロアーで、創造主を呼び出したときも来ていませんでした。

私はよっぽどの理由があるのではと思い、星のツアーが終了してから彼を呼び出しました。

彼は、カシオペア座とケフェウス座を統治する創造主でしたが、私がカシオペア座の女神から、助けを求められた事を話すと、だいぶ沈黙をした後に、あきらめたようにカシオペア座で何が起こったのか話始めました。

それによるとケフェウス座のアルフィルク星から、多くの科学者達や叡智ある存在達が、技術の交流や英知を分かち合うために、カシオペア座を訪れ一緒に技術の研究などを行っていました。

そしてカシオペア座の人達に対して、人々の意識を上げ、星の次元上昇を行うために教育を行っていましたが、ベータ星の人達は、やがて自分達の技術や英知に対して過度の自信を持ち傲慢になっていきました。

そして自分達が進む方向を見誤りカシオペア座の人達を間違えた方向に導いていくようになったのです。

やがて、カシオペア座を通して、他の星まで悪い影響を与え始め、さらに自分達の叡智の高さや技術の高さに、自分自身を見失い、他の星の人々を支配していったのです。

私はそのために、アルフィルク星の人々とそれに従うカシオペア座の人々を、ひとつの場所に集め動きが取れないようにして殺してしまいました。

そして、アルフィルク星やカシオペア座を凍結したのです。

私は、彼らが北斗七星や他の星々に悪い影響を与えるのが怖かったので、他の星域に迷惑がかかる前に、私の判断で彼らを殺してしまいました。

カシオペア座に渦巻いているネガティブなエネルギーの正体は、その時の悔しさや悲しさの感情が残っているためです。

私は、他の創造主に対しても相談する事ができずに一人で悩み、その結果、このような方法をとらざるを得なかったのです。

創造主の魂の慟哭が、ひしひしと伝わってきます。

彼の孤独と苦しみ、悲しみが彼の心を苛み、癒しても癒しきれない深い心の傷がそこに残っています。

私達がまず行わなければならない事は、創造主とカシオペア座で亡くなった人達の心を癒す事なのではないでしょうか、私はイエスに尋ねました。

イエスもそのように考えているようですが、創造主の心の傷をいやすのは、かなり困難なような気がします。

## PART2 星の創造をおこなうカシオペア座

### ○ダイダロス様と聖なる光の観音様

今日もツアーの前に新しいゴッデス達が私達をサポートに来てくれました。

一人はダイダロス様で、ネガティブなエネル

ギーを光に変容していくマスターです。  
彼は、地球において様々なものを発明し、天使の翼を作り、空を飛ぶ事を可能にしたマスターですが、もともとはマスターAにかかわる偉大なゴッデスの一人です。  
彼の働きは、感情やネガティブなエネルギーを光に変える「紫色の変容の光」をもたらす事です。

紫色の光は、ダイダロスと呼ばれるゴッデスである事は間違いありません。  
彼は優秀な匠として多くの物を発明した人間としても知られていますが、彼は、マスターAの永久を受けてこの地球に生れた存在でもあります。

彼が持つ紫色の光は、恐れや不安から自らを解放し大きく飛翔させる力を持ちます。  
彼の紫色の光は、その人々の心を変容させより純粋なものに昇華させていくのです。

もともとダイダロス達がおこなっていた、発明もある物質に、熱や他の物を加えて変容させて新しいものを生み出す錬金術的な作業でした。

ダイダロスの紫の光は、人々やそこにあるエネルギー、感情などに紫色の変容の光を与えて、より純粋なものに変容させていくのです。

そこにとどまり固執しているエネルギーは変化を恐れ、そのエネルギーの質を低下させていきます。

もしそこにあるエネルギーが、叡智ある存在の物であったとするならば、そのエネルギーは感情を持ち、憎しみや悲しみや、怒りの感情に飲み込まれていく事となるでしょう。

エネルギーと言うのは、いつもアクティブに活動し変容していくものです。

変容するという事は、この世界を循環し、常に新しき存在でいるという事です。

ダイダロスの紫の光は、人だけにかかわらず、すべてのエネルギーや、実態を失った感情を変容させていきます。

そしてもう一人のグレート・ゴッデスは、聖なる光の観音様です。

彼は、私達のもっとも初期のアチューメントのマスターであり、私達を長い事導いてくれたマスターですが、その観音様が、グレート・ゴッデスとして私達のもとに戻ってきてくれました。

彼のもたらすオレンジ色の光は、ネガティブな感情に支配され、身動きが取れなくなった人から、その感情やネガティブなエネルギーを切り取り自由にします。

人々は、自分の怒りや苦しみ、悲しみに襲われたときどうしようもなくなり、他人の声に耳を貸す事ができなくなります。

そのような時、その感情を切り離し、人々を冷静な状態に戻し事ができます。

またその存在が死んでしまい、感情のエネルギーだけが残り、その存在のスピリットが、死後の世界に戻る事を妨げているとするならば、その感情とスピリットを切り離し、死者を帰るべき世界へ送り届けます。

また観音様は、私に銀白色の光ももたらしてくれました。この光は、慈愛の光です。

最近の人々や、宇宙の叡智ある存在達は、他の生命を慈しみ愛する事を忘れ、自分達の都合の良いように扱ったり、支配する事が増えてきました。

そのために、多くの星が犠牲となり、生命が命を奪われたり、星が傷ついたりする事が増えてきたのです。

叡智ある存在達が、慈愛の心をもって他の生命に接する事、星が持つ尊厳を尊重し、星の自然生態系を大切に守る事などを、もう一度思い出さないと、この宇宙はどんどん荒廃していきます。

そのために、この聖なる光の観音様の「慈愛の光」を、宇宙に生きる生命達のために使用するようにとの事でした。

## ○星を物理世界に生み出す星座 カシオペア座



私達のツアーも今日はついにカシオペア座に入る事になりました。

先日来たときは、とてもネガティブなエネルギーで満ちていたのですが、この1週間の間に、マスターやテトリス達が、エネルギーの浄化を行い、また感情やネガティブなエネルギー光に変える「暗黒世界」が立ち直った事により、カシオペア座のエネルギーもだい



ぶきれいになっていました。

これなら星に入れそうですね、偵察隊に星の状況を見てもらう事にしました。

一番下にある星とカシオペアの太ももに当たるセギン星とルクバ星は、さほど問題がないようでした。

これらの星には新しい星を作る時に使用されるとても重要な鉱物資源があり、ここに来た存在達が、その資源を異なる方向に使おうとしたために、創造主によって、これらの星には入れないように、星が凍結されているようでした。

このセギン星とルクバ星の 2 つの星は特定の次元でつながっており、共に協力し合っているようでした。

お腹の所にあるツィー星は、星の鉱物資源を動かすための動力機械のようなものがあり、その様子から見てこの星は星型宇宙船のようで、マスターA 達によって作られた星のようです。

シェダル星は、このカシオペア座にとっては、高い次元を保ち、カシオペア座はもちろん、新しく生まれた星の働きを良くしたり、空気中の大気を調整したり、風のような自然生態系の中にあるものから、エネルギーを生みだしていくような、星のスピリット部分をになうような働きをしているようでした。

そして問題のカフ星は、他の星に比べて、まだネガティブなエネルギーがたくさん残っているようにも見えます。

この星にはまだ入れないようですが、この星はカシオペア座の大元となり、他の星の働きを調整し、それぞれの星から集められてきたエネルギー資源を集めて一つの星を作るま

での働きを行うようでした。

私は、そのあまりの高度な技術に少し驚きましたが、この研究所もマスターA 達によって作られ、マスターA 達によって派遣された技術者が中心となって技術を開発したりしていたようです。

そして星の住人達もその活動を手伝っていたようですが、ケフェウス座から来た人達にそそのかされて、その技術を異なる方向に使用し始めたために、大きな問題が起きたという事です。

マスターA の技術者も一部その中に紛れてしまいましたが、中にはその動きから離反してマスターA のもとに戻った技術者もいたようです。

しかしこの星に残った数名の技術者とケフェウス座の人、アンドロメダの人はこれ以上、間違えた方向にその技術や資源を使用しないように、星を凍結させられてしまいましたが、これらの星が持つ重要な働きを考えると、この星座は復活させ、きちんとした技術者によって適切な働きをされなければならないようです。

ここに技術者を送り込んだマスターA もグレート・イエス達もその事を願っているようでした。

またケフェウス座の創造主も、今回私達に同行し自分の過ちを深く反省しているようです。

○星を生み出す資源を持つ星

それでは、私達は星の再生をおこなう事にしました。

最初はセギン星とルクバ星を同時に次元上昇させていきます。

それぞれの星に光のマカバを作り、創造主達の神聖幾何学を描いてもらい、グレート・イエスやマリア様達の光を導きます。

足元にある星のクリスタル・ドームは、少し輝きが足りません。私達はここに、グレート・マザーやグレート・キング、グレート・エンジェル達の光を導きます。

そしてこの星の地表に出てピンク・ボックスを開き、生命が生活できるような環境を作り上げる事にしました。

するとこの星は輝きを取戻し、少しずつ動き始めました。

ルクバ星のクリスタル・ドームを見ると、こちらのクリスタル・ドームは、まったく輝きを失い透明感もなく岩の様になっていました。

おそらくマザー・クリスタルの働きも止められ、星としての働きを止められていたせいでしょう。

クリスタル・ドームにもまったく活気がありませんし、女神も眠りについているようです。この星の機能が凍結され、この星の中に眠っている鉱物資源を利用できないようにしてあるようです。

創造主達にも協力してもらい、星の上に強力な神聖幾何学を描き、また、グレート・マザー、グレート・ファザー、グレート・エンジェル、グレート・キングの光をこのクリスタル・ドームに呼び込みますが、星のクリスタル達がうまく活性しません。

そこで、新人種達に、クリスタル・ドームの活性を手伝ってもらい、さらには惑星意識であるアーシャーにもこの星に、目覚めのパワーをもたらしてくれるようお願いしました。

そして大宇宙の魔法使いとケフェウス座の創造主が力を合わせて、星の凍結を解いています。

テトリスとテトラエル達にも手伝ってもらい、星にどんどんパワフルなエネルギーを与えていくと、少しずつ固まっていた氷が解けるように、星に輝きが戻ってきました。

私達は、今度は星の地球に出てピンク・ボックスを開きます。

この星を生命豊かな星に変える事によって、星の凍結は解かれ新たな星として生まれ変わる事でしょう。

カシオペア座のお腹の所にあるツィー星に関しては、基本的に大きな宇宙船なので、その修理をマスターA 達にお願いする事にしました。

## ○ネガティブなエネルギーが渦巻くシェダル星

さて、今までの 3 つの星はさほど問題がないようですが、次のシェダル星は、とても大きなエネルギーの渦巻きがあります。

おそらくこれは、人々の怒りや苦しみ、悲しみなどの感情のエネルギーが、大きな渦となって星の上を荒れ狂っているようにも見えます。

私達は、光のマカバを作り、この星全体に創造主の神聖幾何学を描き、浄化するとともに新しく仲間になったダイダロスと聖なる光の観音に、このネガティブなエネルギーの浄化をお願いしました。

2人のマスターは協力し合って、ネガティブなエネルギーの渦を取り囲むようにして浄化していきます。

テトリス達や、ブラック・エンジェル、ブラック・エルフ、聖なる水の騎士団達も中に入り、ネガティブなエネルギーに直接光を送り、光に統合を図っていきます。

私達はその間に、クリスタル・ドームの中に入り輝きを失い沈黙しているクリスタル達に光を送っていきます。

そして、この星に大気の循環を作り、自然生態系のサイクルが戻ってくるように、グレート・ゴッデスのエアリアを呼び、星の女神と共にこの星を再生させる働きをお願いしました。

観音様とダイダロス様達によって、地表の闇のエネルギーの渦巻きが片づけられた頃を見計らって、私達は地表に出て、ピンク・ボックスを使います。

この星は、やはりケフェウス座の創造主によって、叡智ある生命達が住めないようになっていましたが、恐竜のマスター達がくれたピンク・ボックスによって、星が生まれ変わる時間の流れを体験し生まれ変わっていきます。

やがて、クリスタル・ドームのクリスタル達も目覚め、シェタルの星も次元上昇していきます。

## ○生まれ変わるカフ星と新人種

私達はついに、ケフェウス座の創造主と共にカフ星に入る事になりました。先週はあれほど立ち込めていたエネルギーの渦も今はもうほとんど残っていません。

みんなの協力のおかげで、カフ星で亡くなった人達も、光へと統合されて、生まれ変わるために、創造の世界（暗黒世界）へと戻っていったようです。

残ったエネルギー達は、ダイダロスと観音様、ブラック・エンジェル達が、どんどん処理しているようです。

私達は、クリスタル・ドームに入り、カフラエルと呼ばれるマザー・クリスタルを活性化させていきます。

すると、あれほど重たかったカフ星のエネルギーが次第に澄み渡り、重さが取れ、次元上昇していきます。

私達にはとても大きな驚きです。

私達は、グレート・イエス様達と相談して、この誰もいなくなった星に、新しい人種を生まだす事にしました。

この星は、マスターAの導きのもとに、星の創造をおこなってきた場所ですから、その役割をきちんと果たしてもらう存在が必要である事は言うまでもありません。

私が、新人種の創造の事を、イエスに持ちかけるとイエスも喜んでくれましたし、ケフェウス座の創造主も、今までの事を反省して再度やり直したいと話しています。

私はこの、新たなカシオペア座に新たな存在を生まだす事となりました。

新人種は、優れた知性と正義の心をもって、

研究ができるようにマスターAにもお手伝いをお願いしました。

そして、騎士でありながらも、宇宙工学や様々な叡智に深い理解を持つベラトリックス騎士団のベラトリックス、そして、ケフェウス座のマスターを癒し、この宇宙に愛と慈愛を広めていく存在となるように、聖母マリア様の遺伝子もくみあわせて、このカシオペア座で活躍する新人種「カシオベリアン」達が生みだされました。

そしてこのカシオペア座やケフェウス座を守り、新人主達が間違えた方向に行かないように騎士団も作りました。

その騎士団はアルデバランの騎士団長、大天使ミカエル、そしてサンジェルマンの遺伝子を組みあわせ、大天使ミカエルの愛と正義とパワーを持ち、アルデバラン騎士団の勇気、そしてサンジェルマンの魔法の力を持つ万能型の騎士団です。

これからカシオペア座とケフェウス座は、彼らによって新しい星座として生まれ変わる事でしょう。

最後に私達は、このカシオペヤ座が、再びグレート・スターの光と指導を受け、しっかりと星を育てる働きができるように、グレート・スターとの光の通路を開きます。

それは、カフ星、シェダル星、ツィー星で囲まれた3角形の中心に開いているようです。

私達は、創造主の神聖幾何学を描いてもらい、グレート・マザー、グレート・ファザー、グレート・キング、グレート・エンジェル達の光を呼び込み、グレート・スターの光がこのカシオペヤ座につながるよう祈りました。すると、その3角形の中心に巨大な白い光が

降り、グレート・スターとの通路が開かれていきました。

またへびつかい座やへび座との通路も開かれていくようです。

これでカシオペヤ座は、今までどおり星の新生にかかわる重要な任務を果たしていく事となるでしょう。



## 第5章 星に光と資源を送る

### 星座 ペルセウス座

#### PART1 聖なるドラゴンの星座ペルセウス座



#### ○ペルセウス座に光を送る

私達は、次の星座を目指します。

このペルセウス座は、偉大なる勇者ペルセウス様がいらっしゃる星座ですが、私達もペルセウス様がいるミルファク星以外には入った事がないので、まずは偵察隊を送りペルセウス座の様子を調べます。

ミルファク星の上下にあるセイド星とバセル星は、ペルセウス様の守護もありそれほど大きな問題はないようですが、アルゴル星では、星の中で大きな争いが起こっており、次元も下降して危険な状態にあるようです。

そしてその影響で、ゴルゴネア星も次元下降を起こしているようです。

またアディツド星も異なる問題が起こっているようです。

私達はまずこのペルセウス座全体に光を送り、第1次次元上昇を行います。

それは、高度な創造主達の力で、ペルセウス座全体に神聖幾何学を描き、またグレート・ゴッデスやグレート・マザー達の光を呼び込み、ペルセウス全体を光に満たして次元上昇していく事です。

小さな問題はこれだけでも解決し、星のネガティブなエネルギーもだいぶ浄化されていきます。

このような状態にしておいてから、私達が一つ一つの星を巡り、大きな問題を解決しながら、星ごとに、第2次次元上昇をおこないます。

全ての星でその作業が終わると、さらに星座全体を大きく次元上昇していくというプロセスをとりながら、星座の次元上昇を行っていきます。

## ○高度の技術を狙われたアルゴル星

私達は、まずアルゴル星が、他の星の人々の侵略を受けているという事でしたので、アルゴル星に向かうと共に、クラシャー連合のシバ神をよびだして、彼らの関与を聞きました。やはり、アルゴル星を攻撃していたのは、シバ神のクラシャー連合でした。

彼等はアルゴル星が持つ特殊な技術を手に入れるために、攻撃を行っているようでした。その技術とは遠くに離れている星に対しても、特殊な操作で影響を与える事ができる機械だという事ですが、クラシャー連合がそのような機械を手に入れると大変な事になっ

てしまうので、阻止しなければなりません。

私達は、この星を囲むように光のマカバを作り、創造主達の光を導き、アルゴル星を光で満たしていきます。

そして、この光のマカバに出口を作り、そこからにげだしてきたクラシャー連合の人達を閉じ込める檻を設置しました。

クラシャー連合の多くの人達は、以前は善良な騎士や技術者だったのですが、自分の傲慢さや自己中心的な感情を利用して、心理攻撃を受け、今ではクラシャー連合に操られて他の星々を侵略する手伝いをしているのです。

クラシャー連合の人達が、そろそろと出てきます。大きな宇宙船も見えます。

彼らが出てくると、すぐに癒しの女神や癒しの天使達が彼らの心を癒し、魔法使い達が彼らの心理的な束縛を解き放っていきます。すると彼等は、我に戻り自分達がしていた事に驚くのです。

今回のクラシャー連合のメンバーは、私達の仲間であるアナタリック連合の部下達ばかりでした。

宇宙船もアナタリック連合の宇宙船のようですので、アナタリック連合のリーダーに彼らの事を引き渡します。

私達は、戦乱で荒れ果てたアルゴル星を立てなおすために、アルゴル星へと降り立ちます。この星のクリスタル・ドームに入り、傷ついた女神を癒し、クリスタルに光を送り活性化していきます。

女神の話によると、このアルゴル星は、カシ

オペア座が行ってきた仕事—あたらしく生まれた星をこの物理次元で育てる事をサポートするための星のであり、自分達のエネルギーを遠くにある星に及ぼす事で、その星にエネルギーを与え育てていく手助けを行うそうです。

そしてそのような大切な目的のために使用する機械をクラシャー連合に奪われそうになったので、必死に守っている間に、多くの人達が命を失ったり星も疲労してしまったという事です。

私達はこのアルゴル星のクリスタル・ドームにグレート・マザー達の光をドンドン呼び込み、クリスタル・ドームを活性化していきます。

そしてアルゴル星の地表にでて戦いの中で傷ついた星々を再生するために光を世簿込んでいきます。

おそらくこの戦いの中で生き残った人達が新たなアルゴル星を作っていく事でしょう。

## ○ホビット達のゴルゴネア星と神聖なるドラゴンのアディツド星

ゴルゴネア星に降り立つと、ここはホビット達の星でした。ホビット達は、マスターA達の仲間でもあります。

ホビット達は、マスターAと協力してアルゴルと共に星を育てる事を行っているようです。

私達のホビットと彼等はすぐに仲良くなり、大切なものをお互い交換したり助け合っているようです。

私達は、このゴルゴネア星が荒れ果てている

ので、ピンク・ボックスを開き、この星を緑豊かな星にしてあげました。

次に私達は、アディツド星へと降り立ちました。

この星はいくつかの大きな裂け目があり、自然気象も乱れているようでした。

私達はこの星のマスターを呼び出すと女神が現れ、このペルセウス座を守護しエネルギーの循環を作っている「神聖なるドラゴン」の力が落ち星々の光の通路も立たれ、星のエネルギーも不均衡になってしまった事を伝えてきました。

特にこの星は、ドラゴンとの関係がとて深い星のようで、その分ダメージも大きいようです。

私達は女神に案内してもらって、山深くにある洞窟を降りていくと大きな鍾乳洞のホールのようなところにドラゴンが力なくうずくまっています。

すぐに、エルエル達や虹色のドラゴン騎士団達を呼び出し、このドラゴンにパワーと光を送ってもらいますが、どうも様子がおかしいです。

魔法使いのオギュームとリムを呼び出し、様子を調べてもらおうと、やはり魔法がかけられています。

どうやら、この世界にドラゴン達の浄化能力をはるかに超えるネガティブなエネルギーが増えてしまったので、このままではドラゴン達はそのエネルギーに飲み込まれてしまう可能性があるため、ドラゴン達の働きを止めて、ドラゴン達を守っているようです。

先日、私達が行った創造の世界（暗黒世界）でもこの宇宙の大きなエネルギーの循環を作り出すソフィア・ドラゴンも同じような理

由で、結界を張られその動きを止められていました。

ただし、私達はその創造の世界に満ち溢れていたネガティブなエネルギー達をだいぶ浄化したので、これからドラゴン達にも住みやすい世界になると思います。

私達は、グレート・ドラゴンをはじめ、グレート・キングやグレート・エンジェル達の光を、このドラゴンに呼び込み、彼にかかっていた魔法を解き放つと、ドラゴンはすこしずつ元気を取りもどし始めました。

やがて、以前のような元気なドラゴンに戻る事でしょう。

私達は、アディツド星のクリスタル・ドームにも降り立ち、元気がない女神とマザー・クリスタルに光を送り、この星を大きく次元上昇させていきます。

## ○ドラゴンの光とドラゴンの星

次に私達は、バセル星へと向かいました。バセル星には、多くの叡智ある存在達が住んでいて、アルゴル星の働きをサポートしています。

確かに大きな問題はないようですが、先ほどのドラゴンの影響でまだ元気が出ないようです。

私達は、マザー・クリスタルに光を呼び込み活性化します。

私達はミルファク星に戻り、ミルファク星のクリスタル・ドームも活性化し、ミルファク星の次元も上げていきます。

そして最終的な次元上昇を前に、このペルセ

ウス座の創造主に出てきてもらい、ペルセウス座と創造主のつながりを深くするための準備を行う事にしました。

私達は、次にセイド星に入り、セイド星を次元上昇したら、あとはペルセウス座をさらに創造主のレベルまで次元上昇するつもりですが、その前に、セイド星でとても気になる事があります。

それは、セイド星を深い霧が覆っているのですが、この霧は自然のものではないような気がします。それもかつていて座や大熊座で見たようなクラシャー連合による霧のようです。

私はシバ神に尋ねると、まさにクラシャー連合が、その星の人々をネガティブなエネルギーにとらえてしまうためのガスのようなようです。私はまず、マー君やキノコちゃんにはいつてもらい、この不要な毒ガスを浄化してもらうとともに、コロボックル達に頼んで、このガスの発生装置を破壊してもらいます。

彼らが星の中に入った後、私達は、マスターAの5色の光を使用して、この星をドンドン浄化していきます。

青や黄色、赤の光がこの星に満ち溢れていたガスをどんどん浄化して、再びセイド星を美しい星に戻していきます。

コロボックル達が、手に壊れた機械をもって戻ってきました。

これでこの星もきっと以前のような美しい星に戻る事でしょう。

私達は地表に降り立ち、創造者やグレート・ゴッデス達の光をこの星に呼び込むとともに、恐竜達のピンク・ボックスを使用して、この星の再生を行っていきます。

さてセイド星の次元上昇が終わると、次はこのペルセウス座全体のさらなる次元上昇を行い、創造主との次元を新たに作っていく事です。

私達は、このペルセウス座に創造主の神聖幾何学を描き、グレート達の光をたくさん呼び込みます。

すると、先ほどの巨大なドラゴンの姿が、このペルセウス座全体を覆うように現れてきました。

そして、そのドラゴンの光に導かれるようにして、創造主の次元も姿を現しました。

そしてその次の瞬間、各星のマザー・クリスタルの女神達が、星の中心から浮かび上がり、ドラゴンの体の中に吸い込まれるように入っていきます。

どうやら、ドラゴンと各星の女神達が、一つのエネルギーに統合されて行くようです。それを見届けるようにして、ペルセウス座の創造主も現れてきます。

輝くばかりの光が大空に満ちあふれます。するとその光の中に一つの通路が見えます。私達は、その通路の中にスーツと入っていき、どんどん次元を上がっていくと大きな星が見えます。

その星には、今まで見たこともないような巨大でパワフルなドラゴン達があります。

私達の目の前には、炎に包まれた赤いサラマンダや水の様に透明な水の龍、大地と一つになった土の龍など、この自然を象徴するような幾種類ものドラゴン達が見えます。

どうやら、ここはドラゴン達が生みだされるためのドラゴンの星のようです。



## 第6章 星の資源を生み出す

### 星座 ギョしゃ座

#### PART1 星の資源を作り出すギョしゃ座



#### ○新しい星の材料を作り出すギョしゃ座

私達は、ペルセウス座の隣にあるギョしゃ座に入ります。

このギョしゃ座は、かつてペテルギウスのダイヤモンドの時にカペラ星を訪ね、イシス様の癒しの神殿に導かれた事があります。その時は、ウサギ座の傷ついた精霊達をこの神殿で癒していただきました。

またケンタウルスやいて座にも、イシス様の癒しの神殿をつくっていただいた事もあります。

今回は、このギョしゃ座の働きを教えてください、そして星座全体を次元上昇する為に、このギョしゃ座を尋ねる事にしました。

私達は、まずカペラ星に降り立ちます。偵察隊にギョしゃ座の各星を調べてもらおう

間に、イシス様からお話を聞きました。

まずぎょしゃ座は全体として、星が物理次元に生れてくる時に、そのために必要な資源（土や水など）をこのぎょしゃ座の中にある鉱物資源から作り出します。

そして、その星の目的や状況に合わせて、必要な資源を生み出すために、物理世界とスピリチュアルな世界の創造をおこなっていき働きを持つようです。

へび座によって生み出された星を、物理次元で形づくる為に必要な鉱物資源をぎょしゃ座が作り出し、カシオペア座やペルセウス座に送っているとの事。

星座同士が、とても大きな協力関係をもって、星の生成と育成を行っているのです。

それらの星が、今回のツアーによって再生され、その働きを取り戻してきましたので、このぎょしゃ座もしっかりと再生させていく必要があります。

偵察隊が戻ってきたようですので報告を聞きます。

このカペラ星は、問題なく動いており、カペラ星の上の次元に創造主がいらっしゃるようです。

メンカリナン星は、ぎょしゃ座の各星をつないでいく通路に少し問題が出ている事と、資源を保管する倉庫が少し古くなって弱っているようですので、それを修正してもらいたいようです。

ポガルダス星も、メンカリナン星と同じような働きをするようですが、同じように力が弱ってきているようです。

アルカブ星も少し弱っているようです。

カペラの下にある星は、少し問題はあるよう

ですが、おおむね良いようです。

## ○ぎょしゃ座を統括するカペラ星

私達は、まず初めにカペラ星から、次元上昇を行う事にしました。

カペラ星のクリスタル・ドームに入り女神を呼び出します。

このカペラ星は、ぎょしゃ座とおうし座のエルナト星の5つの星の働きを統括して、星に必要な物質を作り出す働きをしているようですが、この星座の下にいるスタードラゴンが、まだ眠りにについているために、十分な働きができていないという事でした。

私達は、カペリックスと呼ばれるマザー・クリスタルを強化するために、クリスタルの炎や生命の種などをマザー・クリスタルに入れ、エンパワーメントしていきます。

カペラ星とぎょしゃ座の上に、創造主に神聖幾何学を描いてもらい、カペラ星だけでなく他の星も次元上昇の準備を行います。

グレート・ゴッデス達の光を、カペラ星に導き、星の次元上昇に入ります。

カペラ星が、ゆっくりとその次元を上げていきます。

星の中にフェアリー達がたくさん現れ、遊び始めています。

緑豊かな湖や山、美しい自然がさらに輝きをまし、光にあふれてきます。

この星にある癒しの神殿もきっとその力をまし、さらにパワーアップしている事でしょう。

私達は、この星の上の次元にいる創造主を呼び出し、一緒に行動してもらう事にしました。これによると、このカペラ星は、星がこの物理次元に生れてくるために、最初に必要な土や岩、水などの物質的な資源をこの星が作り出すので、とても大切な役目を持っているとの事です。

## ○星型宇宙船アルカブ

私達は次にアルカブ星に行きました。アルカブという名前はペガサス座にもあり、「乗り物」という意味です。

私は、この星はすぐに星型宇宙船である事が分かりました。

実際星に行ってみると、この星は、銀色に輝いている宇宙船そのものでした。

この宇宙船の役目は、ぎょしゃ座で作られた星の材料となる物質をカシオペア座やその星に運ぶ役割をしているようです。

私はすぐに、宇宙工学の専門家であるマスターAに来てもらいました。

この宇宙船もマスターAのグループが作り出したようで、この宇宙船を操縦するコックピットに問題があって動けないようです。

その場所の修理はマスターAに任せて、私達は、この宇宙船のクリスタル・ドームとも呼べる動力室に入る事にしました。

そして動力源となっているクリスタルに星のしずくやクリスタルの炎の種を入れ、クリスタルを活性化していきます。

途中この宇宙船のリーダーが、私達のもとに来て、修理をしてくれた事に感謝の言葉を述べていきました。

## ○鉱物地資源が豊かなエルナト星

このアルカブ星の横には、おうし座の角の先端に位置するエルナト星があります。

おうし座の星ですが、役割的にはぎょしゃ座の一部としてもよいと思います。

私達が一度このエルナト星に行ったとき、この星は鉱物資源を狙うクラシャー軍団に襲われた後でした。

星も荒らされていましたが、クラシャー連合は鉱物資源を発見できずにそのまま帰ったようです。

私達はその時、星の自然環境を整え星の次元上昇を行って帰りました。

今回は、エルナト星の鉱物資源を利用して、星の新生のための働きを再開するために再びエルナト星に降り立ちました。

以前会ったマスターは私達が突然来たので驚いています。

というのも、このマスターは、自分の星に大切な鉱物資源がある事を自分が知っていたら不安になるので、その記憶を消してくれと言ってきたので、私達は彼の記憶を消したので、私達の事を覚えていないのです。

しかし今回は、カペラ星の創造主が、ぎょしゃ座の働きを再開するので協力するようにと話をしているようです。

私達はこの星のクリスタル・ドームに入り、クリスタルを活性化します。

ところがエルナト星の女神はクリスタル・ドームの中で横になって倒れ、意識を失っているようです。

どうやら以前のクラシャー連合の攻撃によりショックを受け、星を凍結したまま自分も

深い眠りに入ったようです。

私達が以前、エルナト星を訪れた時には、まだクリスタル・ドームに入る能力がなかったので、この女神の存在に気づきませんでした。

私はすぐに癒しの女神、癒しの天使、アスクレピオス様を呼び出し、女神の手当てをお願いしました。

そして、クリスタル・ドームの活性に入りました。

この星のマザー・クリスタルはエリオッテイと呼ばれるクリスタルで、星の元となる原材料を生み出す能力を持っており、この星に豊かな鉱物資源をもたらしています。

私達が星に光を与えている間に、女神も目覚めてきたようなので、私達はこの星の次元上昇も行いました。

## ○緑の種を守るケンタウルスの星 ボガルダス星

次にぎょしゃ座のボガルダス星に向かう事になりました。

この星に降り立った時、とても緑豊かな美しい星に見えました。

この星のマスターを呼び出すと、ケンタウルス型の存在と人型の存在の2人が現れました。

ケンタウルス型の存在は、この星で植物の基礎となる緑の種を守り、新しく生まれた星に植物達をもたらす育てる役割を行うようです。

そして自然の生態系を形作り、星のエネルギー

ーを生みだしたり守ったりする事を行うようです。

人型のマスターは、このぎよしゃ座の鉱物資源を守り、自然の循環を整え、また新たに鉱物資源を生みだす役目を行っています。

そして自然界の鉱物資源を必要な形に変容させて、通路を通して宇宙船に運ぶ仕事をしているようですが、現在その大切な通路が歪んでしまい大切な物質を運ぶ事ができなくなりました。

またその通路のゆがみによって、ポガルダス星の働きも弱くなり星の生命力も衰えてきたとの事なので、私達は、ホビットやコロボックル、帝釈天の騎士団などを派遣してその通路の修復にあたらせました。

その間に、私達はクリスタル・ドームに入り、この星の次元上昇を行います。

この星のマザー・クリスタルは、丸型のクリスタルで少し変わっています。

次元上昇するとこのクリスタルも輝いてきました。

## ○鉱物資源の貯蔵庫メンカリナン星

ぎよしゃ座の5角形を作る最後の星はメンカリナン星です。

このぎよしゃ座には、マスターAの部下やグレート・スターによって生み出された人々が少数しか住んでおらず、ほかの星の様に、人々が墮落したり支配的になるような問題はありませんでした。

そのために、星々がまだ高い次元を保ってお

り、平和な状態が続いているようです。  
鉱物資源という大切なものがあるために、あえてそのような叡智ある人々を増やす事をしなかったのかもしれませんが。

メンカリナン星の住人達は、かわいいホビット達でした。

彼らは、星の鉱物資源を倉庫に運んだり、それらを管理する働きをしているようです。

ただ、長い年月の間に、貯蔵庫などが古くなったりしているのを修復する事と、宇宙船への通路をしっかりと作る事をお願いされましたので、ホビット達を中心に、その作業に取り掛かりました。

私達は、その間にこの星のクリスタル・ドームに入り、星の次元上昇です。

## ○ぎょしゃ座のスタードラゴンの目覚め

このぎょしゃ座にも星座を守り、星座間のエネルギーの循環を良くするためのスタードラゴンがいます。

私達は、5つの星のマザー・クリスタルとその女神に呼びかけ、スタードラゴンを目覚めさせる事にしました。

最初に5つの星を同時に次元上昇して活性化させます。

そしてグレート・ゴッデスをはじめとして、グレート・スター、グレート・キング、グレート・エンジェル達の光を呼び込み、星の生命力を高めます。

そして最後にグレート・ドラゴンと創造の世界のユニバーサル・ソフィア・ドラゴンの力を借りて、ぎょしゃ座のスタードラゴンを目覚めさせます。



ドラゴンが目覚めて、この星座の上空に大きな姿を現すと、各星のマザー・クリスタルの女神が、上空に浮かび上がり、ドラゴンの中に、どんどん吸収されて一つになっていくような姿が見えます。

星の女神達とスタードラゴンが一つになる事で、このぎよしゃ座全体の統制がとれ、新しく生まれる星に必要な資源を生み出すという働きが再開されるようです。

## ○カペラ星の新人種

カペラ星の下にある3つの星も次元上する事にしました。

これらの星は、この宇宙の星々との連絡を行う装置のようで、資源が必要な星からの連絡を受け、必要なものを送るように指示を出す役割だそうです。

最後に私達は、このぎよしゃ座の騎士団と新人種を作る事にしました。

この星が、侵略されたりすると大変な事になりますので少数であっても強力な騎士団が必要です。

騎士団は、虹のドラゴン騎士団と宇宙工学にも詳しいベラトリックス星の騎士団、そしてポガルダス星のケンタウルス達の遺伝子を借りて作る事にしました。

この騎士団は、役割や仕事内容に応じて、姿も自由に変えられるようです

またこのぎよしゃ座の新人種はマスターAの遺伝子と女神イリスの遺伝子をお借りして、この星で能力の高い新人種を生みだしていきました。

私は、彼らの事をカペリアンと呼ぶ事にしました。

これでぎょしゃ座の仕事は終了です。  
このツアーを通して、私達は星が生まれる仕組みを学び、天の川銀河に星が新生されるためのシステムを再度作り直してきました。

グレート・スターから与えられた新しい星に関する情報は、へび座とへびつかい座で受け止められ、星が物理的な世界に姿を現してきます。

その時に、星の物理化現象を支え、星を物理的に形づくるのがカシオペア座であり、その材料を供給するのは、ぎょしゃ座、遠く離れている星にエネルギーと資源を送り星の新生と修復を助けるのがペルセウス座の役割です。